

グラフで見る

みやぎの安全衛生

(令和3年1月～令和3年12月)

新型コロナウイルス感染症を除く



宮城労働局労働基準部健康安全課

グラフで見るみやぎの安全衛生

(新型コロナウイルス感染症を除く)

(令和3年1月～12月統計)

目次

ページ

【労働災害関係】

1.主たる業種別労働災害発生状況(1月～12月)	1
2.業種別年別労働災害発生状況	2
3.労働基準監督署別労働災害発生状況(1月～12月)	3
4.労働基準監督署別・業種別労働災害発生状況(1月～12月)	4
5.死亡災害概要	5
6.労働災害の推移	7
7.主要業種別死傷災害の推移(休業4日以上)	7
8.主要業種別死亡災害の推移	8
9.労働災害と交通労働災害の比較(宮城県)	9
10.死亡災害に含まれる交通死亡労働災害の推移	9
11.業種別・各監督署別災害発生状況	10
11-1.業種別・事故の型別死亡災害発生状況(令和3年)	10
11-2.業種別死傷災害発生状況(令和3年)	10
11-3.主要業種別死傷災害発生状況(過去3年の比較)	11
11-4.建設業工事別死傷災害発生状況(過去3年の比較)	11
11-5.監督署別労働災害発生状況(過去3年の比較)	11
12.全産業における労働災害発生状況(令和3年)	12
13.製造業における労働災害発生状況(令和3年)	13
14.建設業における労働災害発生状況(令和3年)	14
15.陸上貨物運送事業における労働災害発生状況(令和3年)	15
16.林業における労働災害発生状況(令和3年)	16
17.第三次産業における労働災害発生状況(令和3年)	17
17-1.商業における労働災害発生状況(令和3年)	18
17-2.小売業における労働災害発生状況(令和3年)	19
17-3.社会福祉施設における労働災害発生状況(令和3年)	20
17-4.飲食店における労働災害発生状況(令和3年)	21
18.主要業種別・月別死傷災害発生状況(令和3年)	22
19.建設業における発注者別死傷災害発生状況(令和3年)	24
20.公共工事における死亡災害の推移	24
21.労働災害の推移と第13次労働災害防止計画(平成30年～令和4年)死傷者数	25
22.転倒災害の発生状況(令和3年)	27
23.高年齢労働者災害の発生状況(令和3年)	29
24.外国人労働者災害の発生状況(令和3年)	31
25.新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害発生状況(令和3年)	34

【労働衛生関係】

1.業務上疾病年別推移	35
2.健康診断有所見率の推移	36

【労働災害関係】

1. 主たる業種別労働災害発生状況(1月～12月)

休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	令和3年		令和2年		令和3年と令和2年の比較		
	増減数	増減%					
全産業	2,691人	(14人)	2,370人	(15人)	321人	(-1 人)	13.5%
製造業	485人	(1人)	464人	(5人)	21人	(-4 人)	4.5%
建設業	318人	(5人)	283人	(3人)	35人	(2 人)	12.4%
陸上貨物運送事業	388人	(4人)	317人	(2人)	71人	(2 人)	22.4%
林業	33人	(0人)	31人	(2人)	2人	(-2 人)	6.5%
第三次産業	1,347人	(3人)	1,193人	(2人)	154人	(1 人)	12.9%
商業	490人	(3人)	412人	(1人)	78人	(2 人)	18.9%
小売業	348人	(3人)	299人	(0人)	49人	(3 人)	16.4%
社会福祉施設	256人	(0人)	214人	(0人)	42人	(0 人)	19.6%
上記以外の業種の合計	120人	(1人)	82人	(1人)	38人	(0 人)	46.3%

休業4日以上
の死傷者数 (うち死亡者数)

発生年	令和2年(1～12月)	令和元年(1～12月)	増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,370人 (15人)	2,432人 (17人)	-62 (-2 人)	-2.5%

新型コロナウイルス感染症を除く

3. 労働基準監督署別労働災害発生状況(1月～12月)

監督署別(1月～12月)

	令和3年	令和2年	令和3年と令和2年との比較	
			増減数	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,691人 (14人)	2,370人 (15人)	321人	13.5%
仙台署	1,596人 (8人)	1,412人 (7人)	184人	13.0%
石巻署	427人 (3人)	362人 (3人)	65人	18.0%
古川署	306人 (1人)	280人 (0人)	26人	9.3%
大河原署	182人 (1人)	168人 (3人)	14人	8.3%
瀬峰署	180人 (1人)	148人 (2人)	32人	21.6%

年別の労働災害発生状況(1月～12月)

発 生 年	令和2年	令和元年	増減%
休業4日以上 の死傷者数 (うち死亡者数)	2,370人 (15人)	2,432人 (17人)	-2.5%

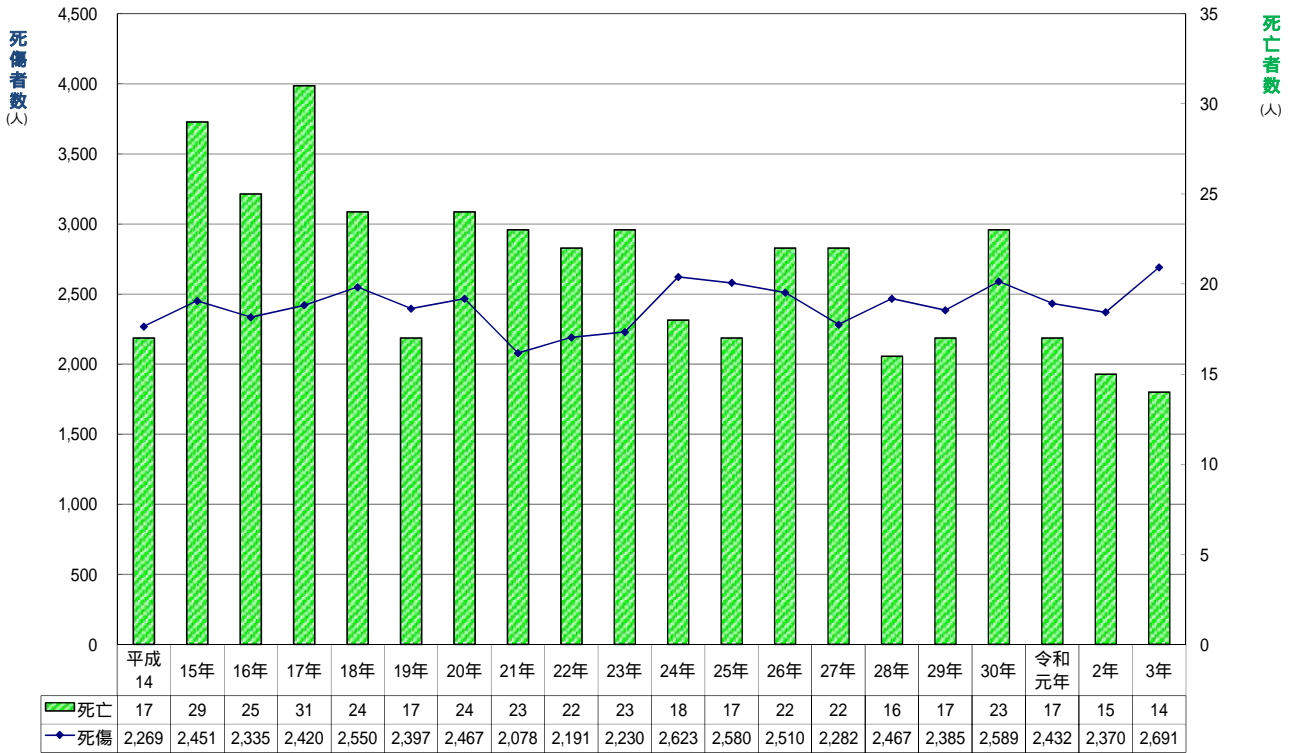
新型コロナウイルス感染症を除く

5. 死亡災害概要(新型コロナウイルス感染症を除く)

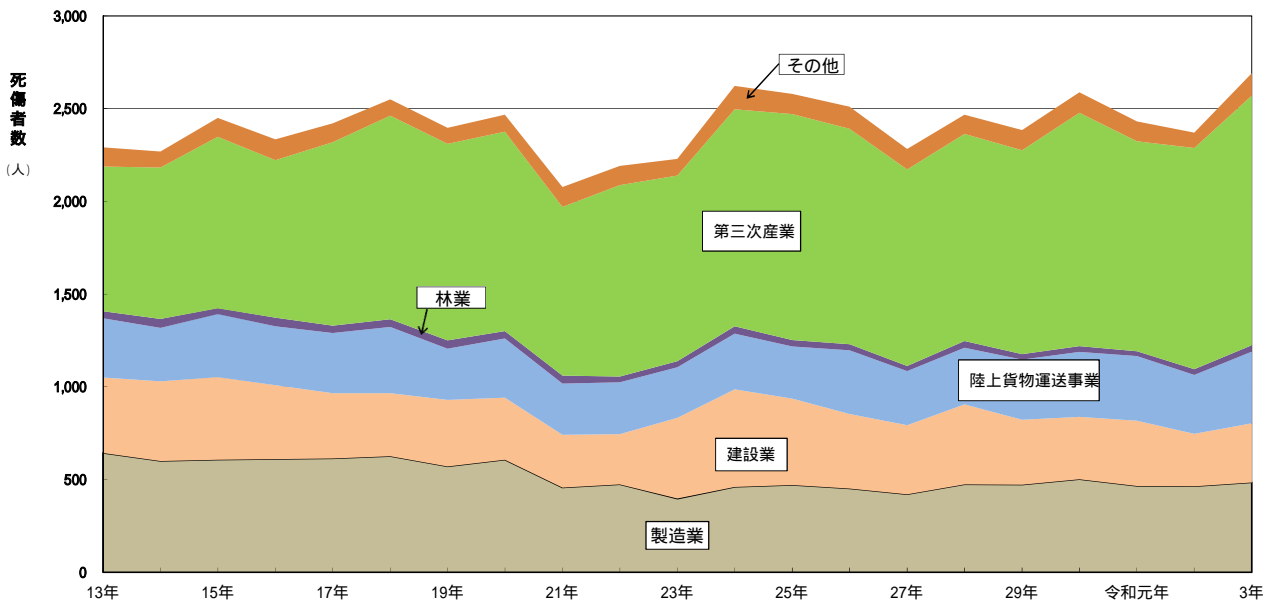
番号	業種	労働者数	事故の型	災害の内容
	発生月	時間帯	起因物	
1	燃料小売業 (8.2.4)	1~9人	はさまれ・ 巻き込まれ	工事現場において、ドラグショベルの給油作業を行うため、タンクローリー車をドラグショベルの正面に停車し、タンクローリー車とドラグショベルの間に進入したところ、停車させたタンクローリー車が動き出し、ドラグショベルとの間にはさまれた。
	1月	13時台	動力運搬機械	
2	港湾海岸 工事業 (3.1.11)	10~49人	はさまれ・ 巻き込まれ	工事現場において、岸壁に台船を接岸しようとしたところ、岸壁の防舷材(緩衝材)と台船の防舷材がはさまり動けなくなったため、岸壁側から台船を押した時に足を滑らせ海へ転落し、動いた台船の防舷材と岸壁の防舷材の間にはさまれた。
	3月	8時台	その他の乗物	
3	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業 (3.2.1)	10~49人	墜落・転落	工事現場において、型枠組立て作業中、角材を2列に並べた作業通路から約1.2m下の地面に墜落した際に、パイプサポートに胸を強打した。
	5月	15時台	通路	
4	道路貨物 運送業 (4.3.2)	10~49人	倒壊・崩壊	コンテナトレーラからフォークリフトで荷下ろし作業を行っていたところ、荷が崩れ、荷とコンテナの壁の間に挟まれたもの。
	5月	7時台	荷姿の物	
5	土木工事業 (3.1.99)	10~49人	激突され	工事現場において、掘削中に出てきた埋設管を取り除くため、同僚が操作するドラグショベルに近づいたときに、ドラグショベルが旋回し、バケット部分に激突されるとともに、近くに停車していたダンプカーとの間に挟まれた。
	5月	16時台	掘削用機械	
6	水産食料品 製造業 (1.1.2)	10~49人	有害物等 との接触	事業場敷地内にある工場廃水の残渣を分離する機械がある小屋へ残渣を確認しに行った時に、小屋内に充満していた硫化水素を吸入したものの。
	7月	12時台	有害物	
7	道路貨物 運送業 (4.3.1)	1~9人	交通事故	砂利の運搬を行うため、ダンプトラックを運転して県道を走行していたところ、ガードレールに衝突し、約2メートルの道路脇に転落した。
	8月	11時台	トラック	
8	新聞販売業 (8.2.5)	10~49人	交通事故	新聞配達のため、原付自転車で県道を走行中に転倒した。
	9月	3時台	バイク	
9	その他の 小売業 (8.2.9)	10~49人	交通事故	ファストフードデリバリー業務のため、社用車(軽貨物車両)を運転して客先に商品配達後、店舗に戻る途中、片側1車線の直線道路を走行中に普通乗用車と正面衝突したものの。
	9月	17時台	乗用車	
10	道路貨物 運送業 (4.3.1)	10~49人	その他	集荷のため、荷積場所付近で時間調整のためトラック内で待機していた際、蜂に刺され、意識を失っているところを発見された。
	10月	11時台	その他の 環境等	

番号	業種	労働者数	事故の型	災害の内容
	発生月	時間帯	起因物	
11	建築設備 工事業 (3.2.3)	1~9人	倒壊・崩壊	工事現場において、ローリングタワー2台の間に単管等を架け渡し、中央にチェーンブロックを取り付けた設備により重量約1tの熱交換器の搬出作業を行っていたところ、バランスを崩して転倒し、付近で待機していた作業者が熱交換器の下敷きとなったもの。
	11月	15時台	人力 クレーン等	
12	陸上貨物 取扱業 (5.1.1)	10~49人	倒壊・崩壊	倉庫整理のため、フォークリフトで段ボールに梱包された冷凍庫をパレット1段当たり8台3段重ね(高さ約7m)にして移動をしていたところ、荷崩れを起こし、運転席の外に出た運転手の頭部に激突したもの。
	11月	14時台	フォーク リフト	
13	橋梁建設 工事業 (3.1.5)	100~299 人	墜落・転落	工事現場において、移動式クレーンの玉掛けの業務に従事していた被災者が、高さ約2mの通路から基礎コンクリート上に墜落、もしくは掘削法面を転落したもの。
	12月	13時台	作業床 ・歩み板	
14	採石業 (2.2.1)	1~9人	はさまれ・ 巻き込まれ	ブルドーザーを運転して除雪作業を行っていたところ、前方に投げ出されて轢かれたもの。
	12月	15時台	整地・運搬・ 積込み用機械	

6. 労働災害の推移 (新型コロナウイルス感染症を除く)



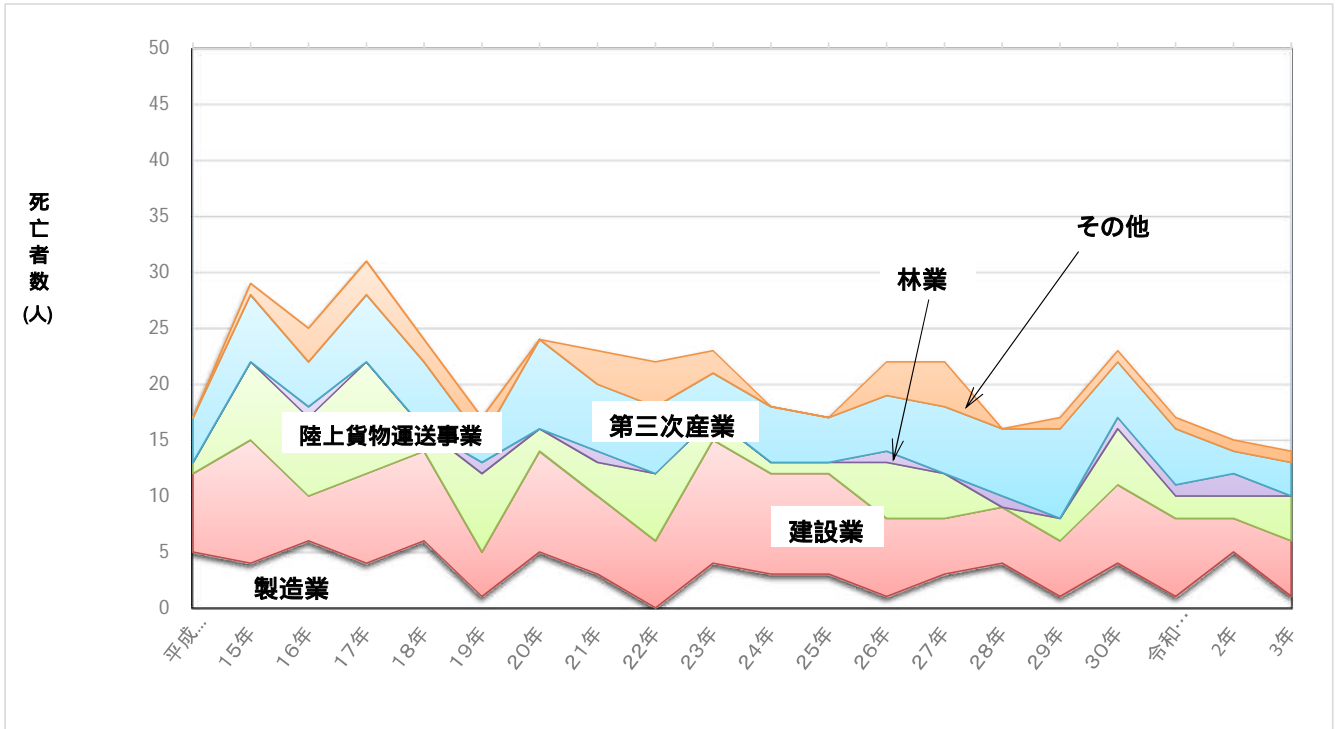
7. 主要業種別死傷災害の推移 (休業4日以上) (新型コロナウイルス感染症を除く)



	平成14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
全産業	2,269	2,451	2,335	2,420	2,550	2,397	2,467	2,078	2,191	2,230	2,623	2,580	2,510	2,282	2,467	2,385	2,589	2,432	2,370	2,691
製造業	600	606	610	614	626	571	607	457	474	397	460	471	452	421	474	473	502	465	464	485
製造業の全産業に占める割合	26.4%	24.7%	26.1%	25.4%	24.5%	23.8%	24.6%	22.0%	21.6%	17.8%	17.5%	18.3%	18.0%	18.4%	19.2%	19.8%	19.4%	19.1%	19.0%	18.0%
建設業	429	447	399	351	339	359	334	284	271	436	527	465	402	372	432	350	336	352	283	318
建設業の全産業に占める割合	18.9%	18.2%	17.1%	14.5%	13.3%	15.0%	13.5%	13.7%	12.4%	19.6%	20.1%	18.0%	16.0%	16.3%	17.5%	14.7%	13.0%	14.5%	11.9%	11.8%
陸上貨物運送事業	289	340	317	326	358	275	320	276	280	273	300	282	343	292	305	324	350	349	317	388
陸上貨物運送事業の全産業に占める割合	12.7%	13.9%	13.6%	13.5%	14.0%	11.5%	13.0%	13.3%	12.8%	12.2%	11.4%	10.9%	13.7%	12.8%	12.4%	13.6%	13.5%	14.4%	13.4%	14.4%
林業	49	31	48	39	42	45	40	43	30	32	40	35	33	28	37	29	32	26	31	33
林業の全産業に占める割合	2.2%	1.3%	2.1%	1.6%	1.6%	1.9%	1.6%	2.1%	1.4%	1.4%	1.5%	1.4%	1.3%	1.2%	1.5%	1.2%	1.2%	1.1%	1.3%	1.2%
第三次産業	815	924	849	989	1,097	1,061	1,075	910	1,033	1,002	1,169	1,218	1,162	1,059	1,115	1,100	1,258	1,133	1,193	1,347
第三次産業の全産業に占める割合	35.9%	37.7%	36.4%	40.9%	43.0%	44.3%	43.6%	43.8%	47.1%	44.9%	44.6%	47.2%	46.3%	46.4%	45.2%	46.1%	48.6%	46.6%	50.3%	50.1%
その他	87	103	112	101	88	86	91	108	103	90	127	109	118	110	104	109	111	107	83	120
その他の全産業に占める割合	3.8%	4.2%	4.8%	4.2%	3.5%	3.6%	3.7%	5.2%	4.7%	4.0%	4.8%	4.2%	4.7%	4.8%	4.2%	4.6%	4.3%	4.4%	3.5%	4.5%

注) 陸上貨物運送事業: 道路貨物運送業、貨物取扱業
 第三次産業: 商業、金融・広告業、映画・演劇業、通信業、教育・研究業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、官公署、その他事業

8.主要業種別死亡災害の推移 (新型コロナウイルス感染症を除く)



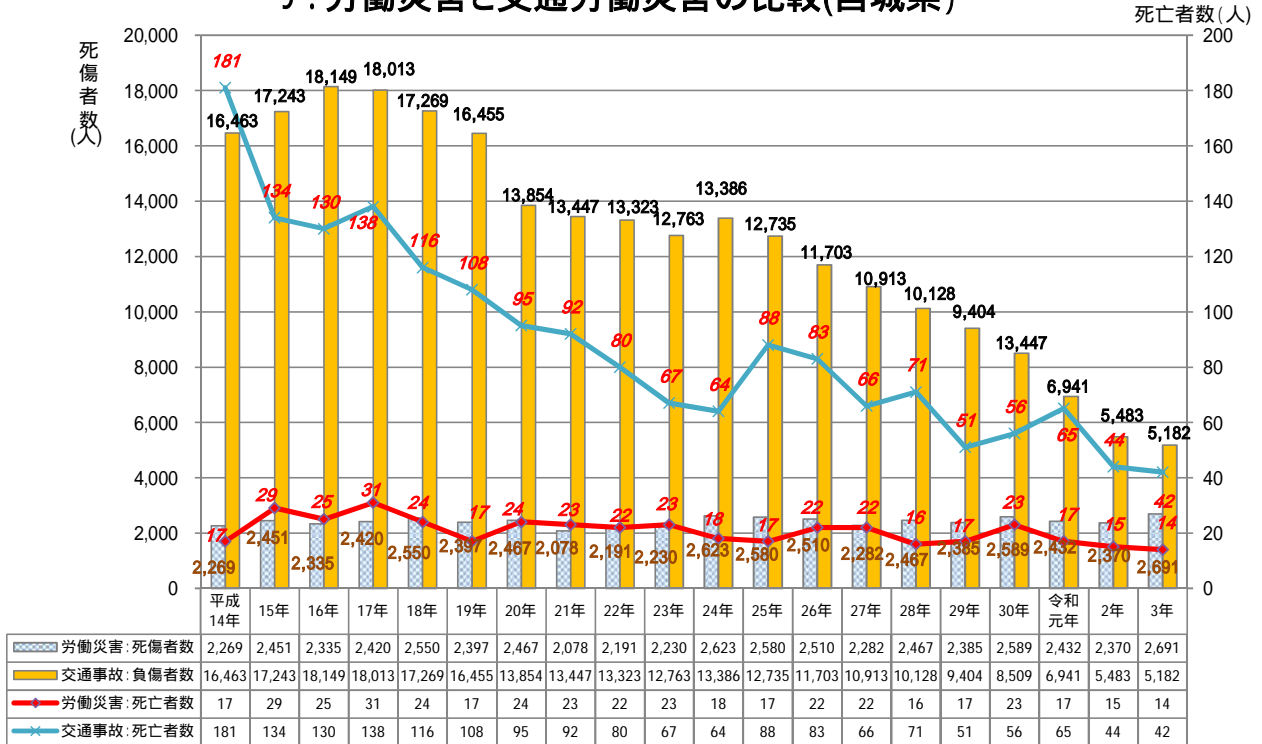
[単位:人]

	平成14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
全産業	17	29	25	31	24	17	24	23	22	23	18	17	22	22	16	17	23	17	15	14
製造業	5	4	6	4	6	1	5	3	0	4	3	3	1	3	4	1	4	1	5	1
建設業	7	11	4	8	8	4	9	7	6	11	9	9	7	5	5	5	7	7	3	5
陸上貨物運送事業	1	7	7	10	2	7	2	3	6	2	1	1	5	4	0	2	5	2	2	4
林業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	2	0
第三次産業	4	6	4	6	6	2	8	6	6	4	5	4	5	6	6	8	5	5	2	3
その他	0	1	3	3	2	2	0	3	4	2	0	0	3	4	0	1	1	1	1	1



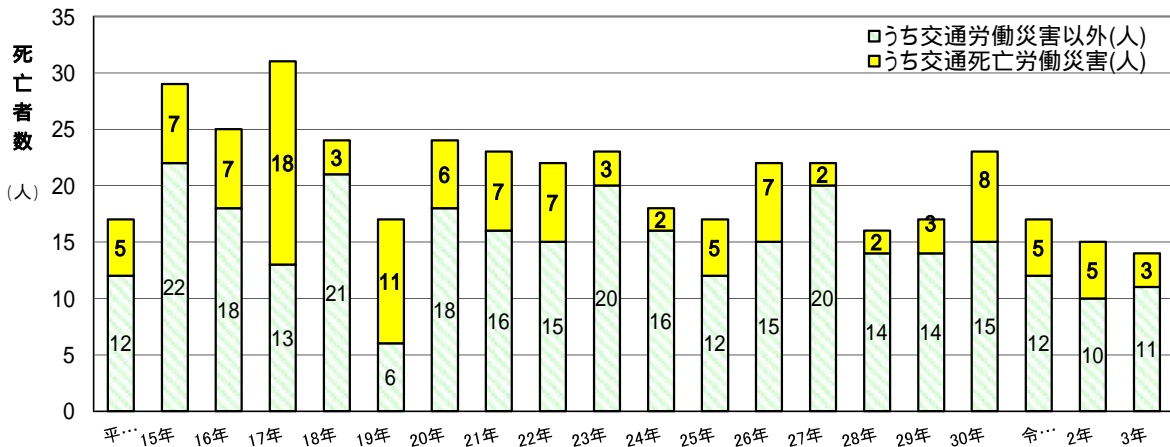
交通労働災害の発生状況

9. 労働災害と交通労働災害の比較(宮城県)



注: 労働災害は、休業4日以上の死傷者数で、宮城労働局労働基準部健康安全課調べ
 交通事故は、宮城県警察本部交通企画課調べ
 新型コロナ感染症を除く

10. 死亡災害に含まれる交通死亡労働災害の推移



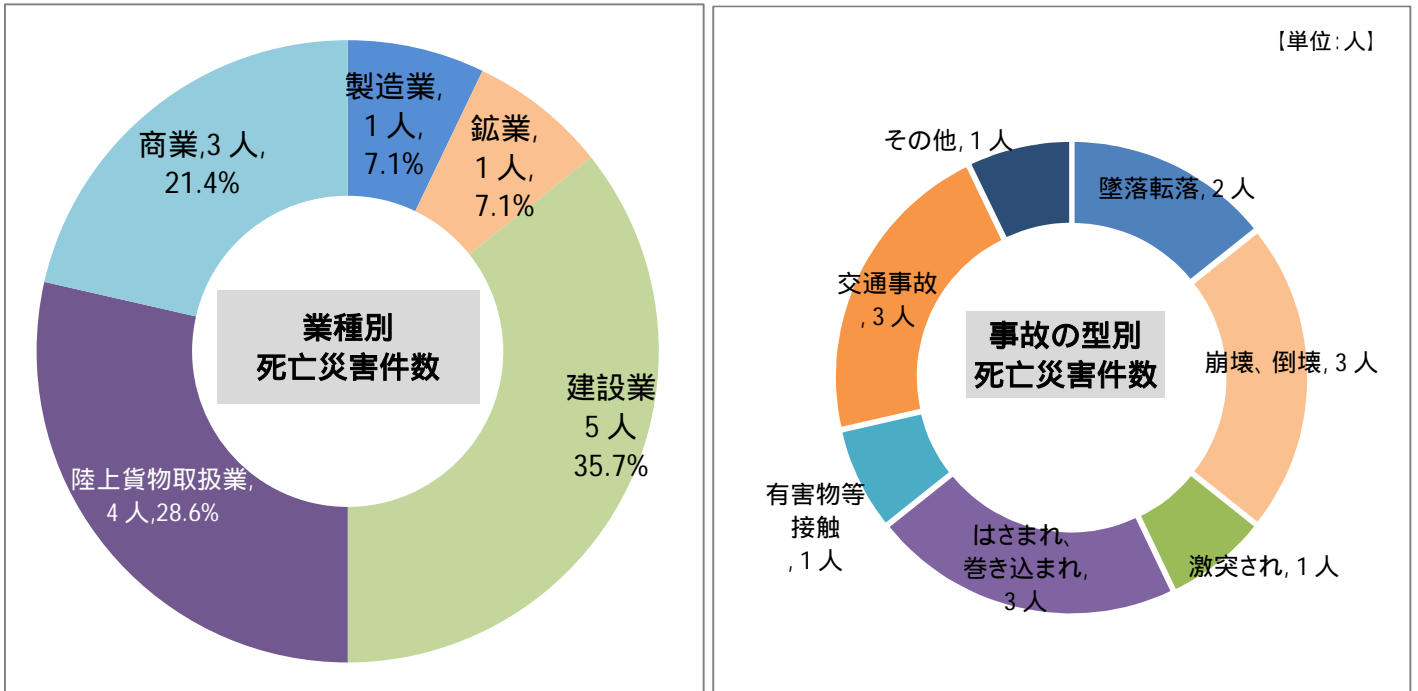
	平成14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	
全産業死傷災害(人)	2,269	2,451	2,335	2,420	2,550	2,397	2,467	2,078	2,191	2,230	2,623	2,580	2,510	2,282	2,467	2,385	2,589	2,432	2,370	2,691	
うち交通労働災害(人)	159	208	178	200	197	264	181	181	188	166	221	189	195	170	174	174	180	145	128	175	
交通労働災害の割合[%]	7.01	8.49	7.62	8.26	7.73	11	7.34	8.71	8.58	7.44	8.43	7.33	7.77	7.45	7	7.3	6.95	5.96	5.40	6.50	
全産業死傷災害(人)	17	29	25	31	24	17	24	23	22	23	18	17	22	22	16	17	23	17	15	14	
うち交通労働災害以外(人)	12	22	18	13	21	6	18	16	15	20	16	12	15	20	14	14	15	13	12	10	11
うち交通死亡労働災害(人)	5	7	7	18	3	11	6	7	7	3	2	5	7	2	2	3	8	5	5	3	
交通労働災害の割合[%]	29.4	24.1	28.0	58.1	12.5	64.7	25.0	30.4	31.8	13.0	11.1	29.4	31.8	9.1	12.5	17.6	34.8	29.4	33.3	21.4	

新型コロナ感染症を除く

11.業種別・各監督署別災害発生状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

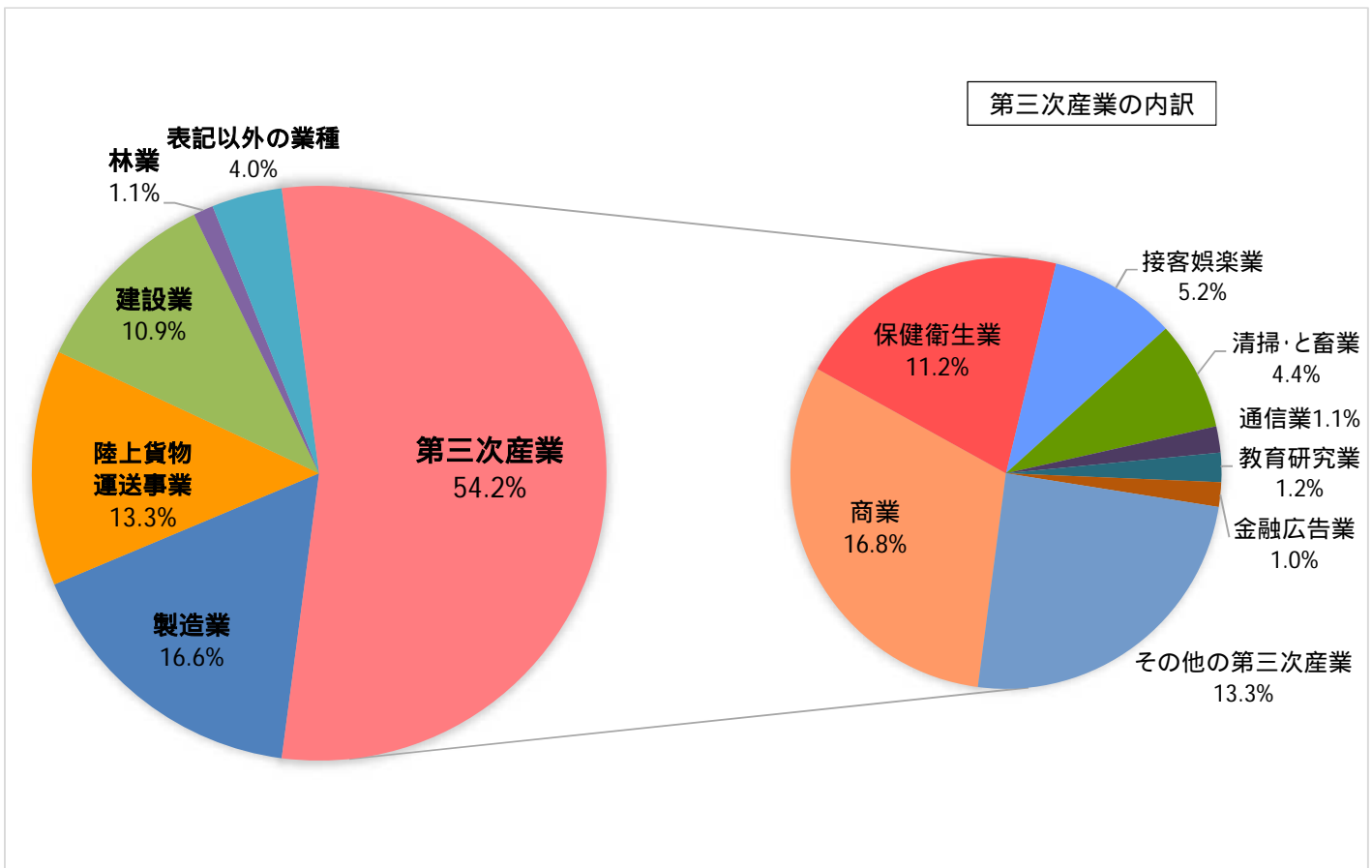
11-1.業種別・事故の型別死亡災害発生状況(令和3年)

(全産業合計:14人)

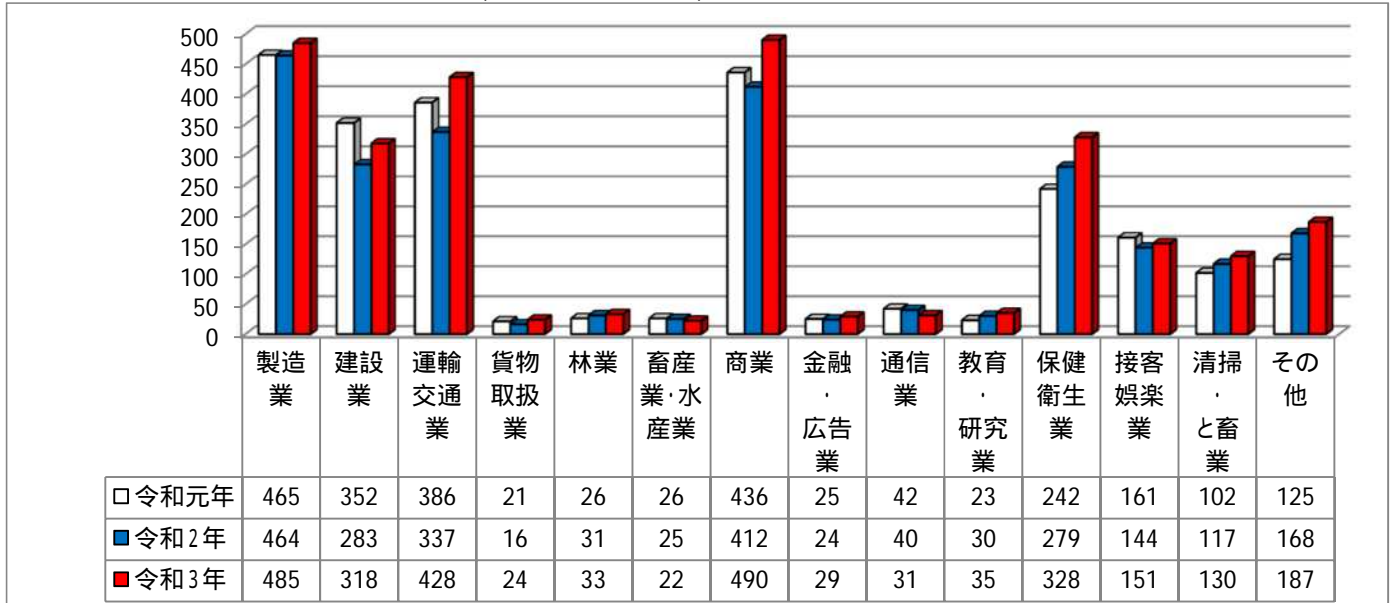


11-2.業種別死傷災害発生状況(令和3年)

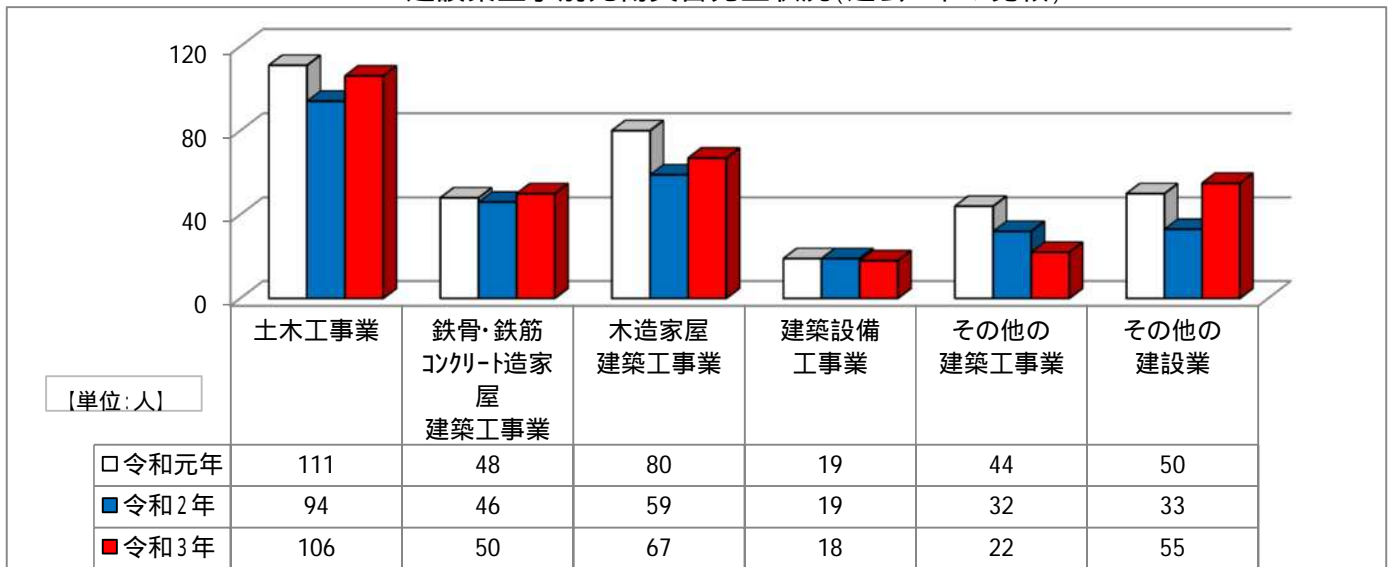
(全産業合計:2691人)



11-3.主要業種別死傷災害発生状況(過去3年の比較)

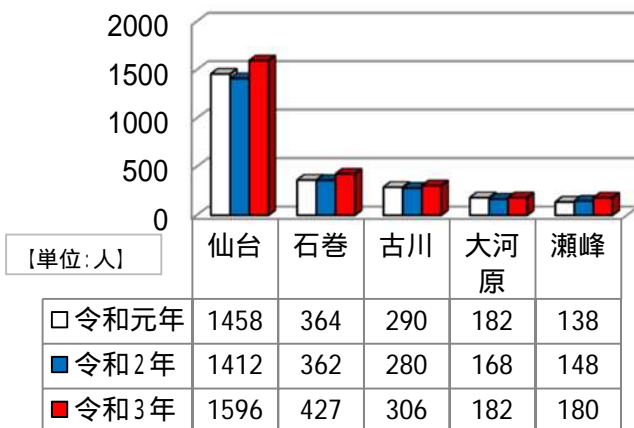


11-4.建設業工事別死傷災害発生状況(過去3年の比較)



11-5.監督署別労働災害発生状況(過去3年の比較)

(死傷件数)



(死亡件数)

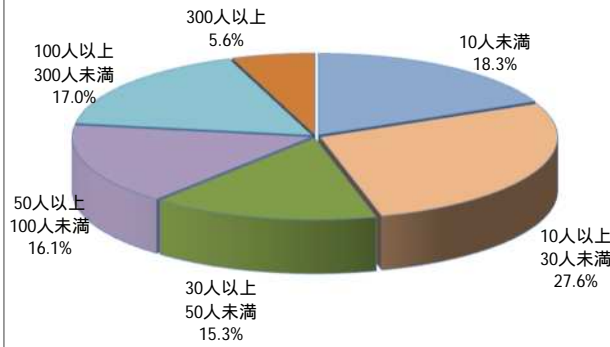


12.全産業における労働災害発生状況(令和3年)

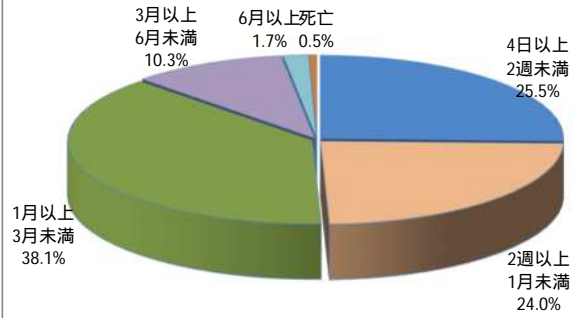
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(全産業：2691人)

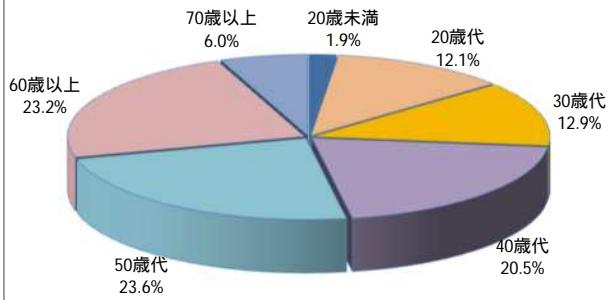
(1)事業場規模別の状況



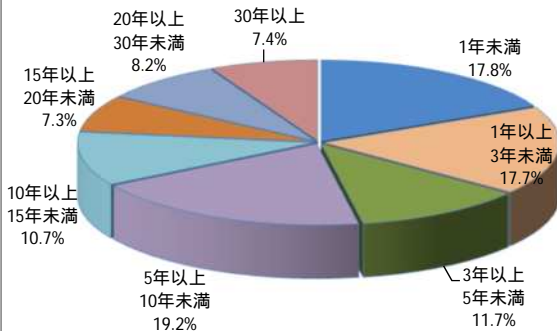
(2)被災程度別の状況



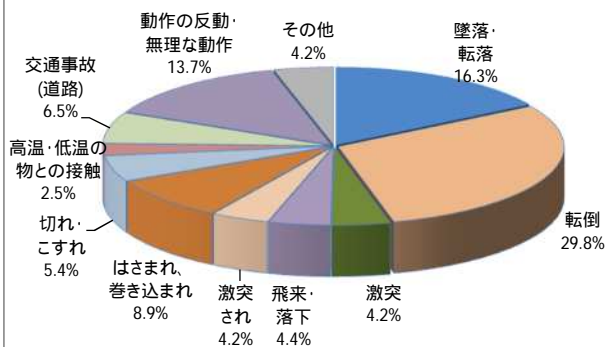
(3)年齢別の状況



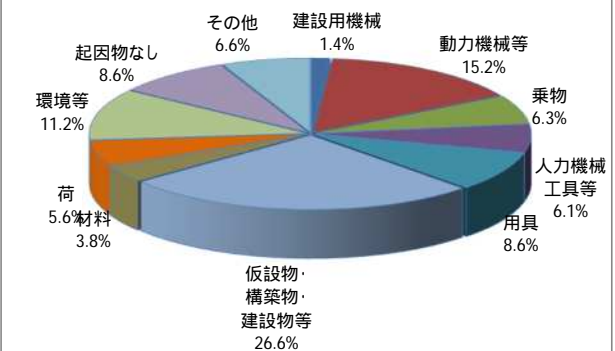
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

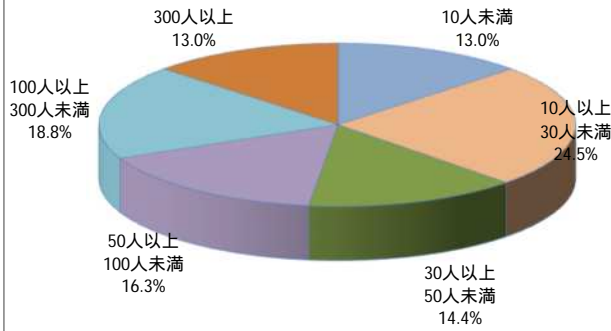


13.製造業における労働災害発生状況(令和3年)

(新型コロナウイルス感染症を除く)

(製造業：485人)

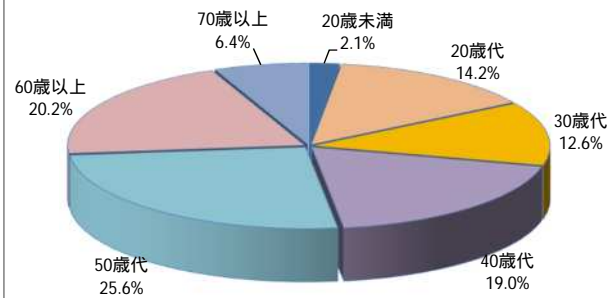
(1)事業場規模別の状況



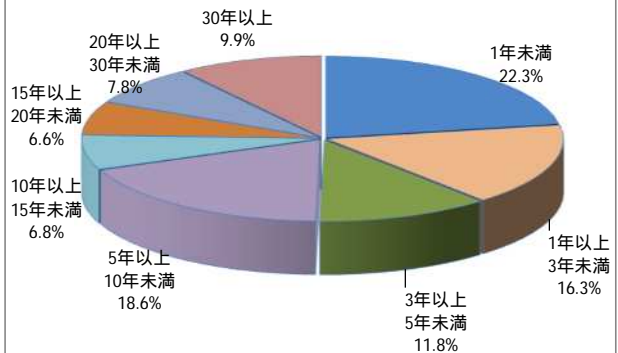
(2)被災程度別の状況



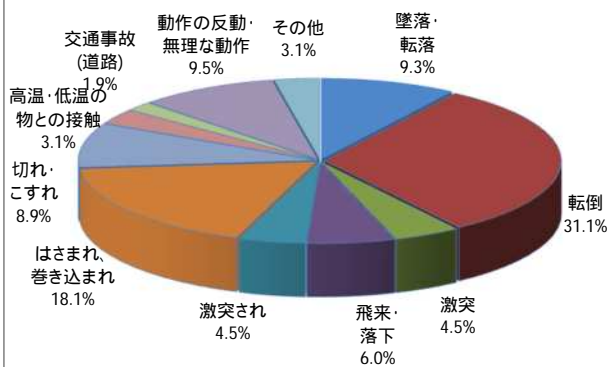
(3)年齢別の状況



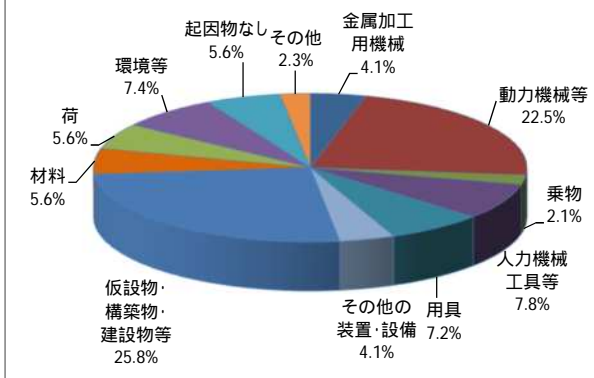
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

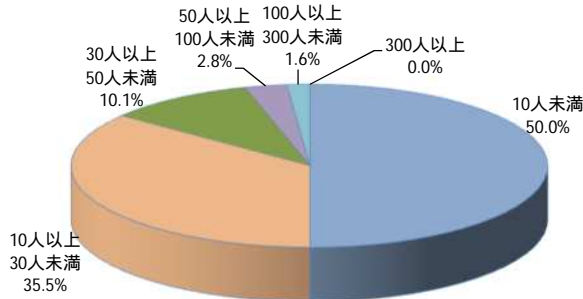


14.建設業における労働災害発生状況(令和3年)

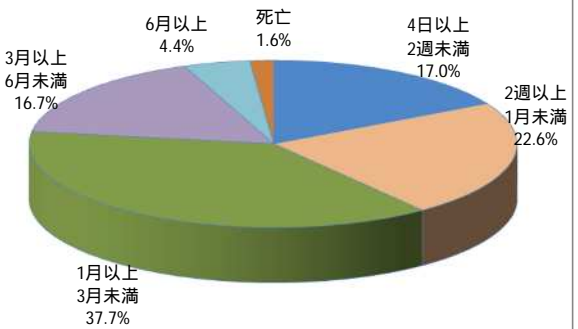
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(建設業：318人)

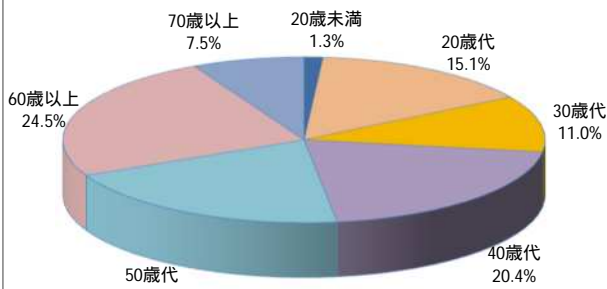
(1)事業場規模別の状況



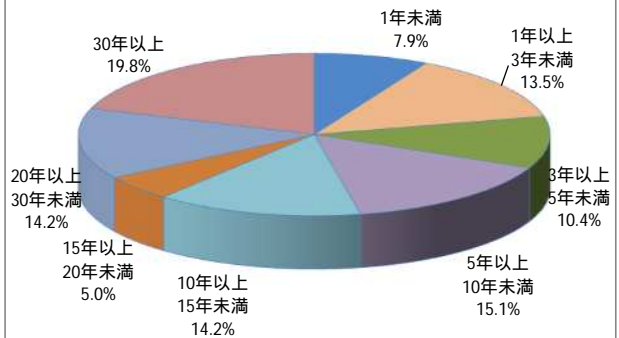
(2)被災程度別の状況



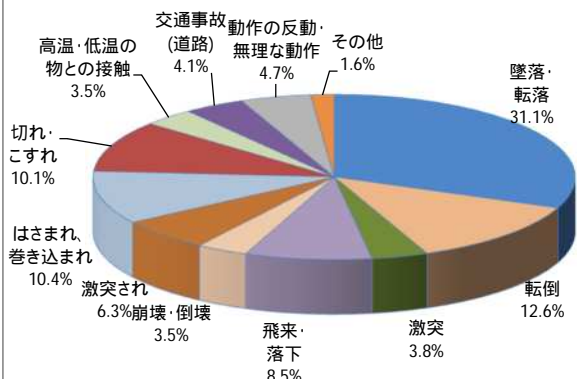
(3)年齢別の状況



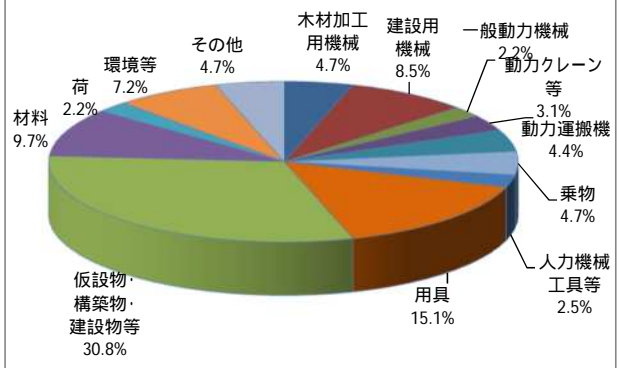
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

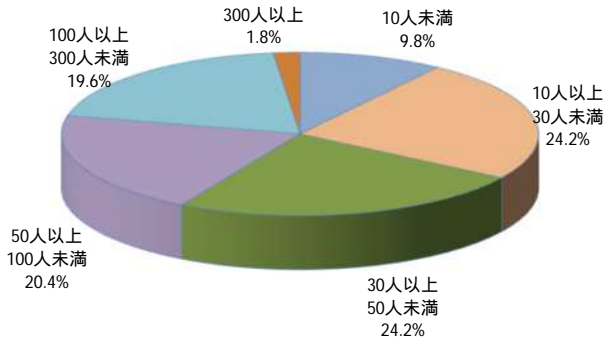


15.陸上貨物運送事業における労働災害発生状況(令和3年)

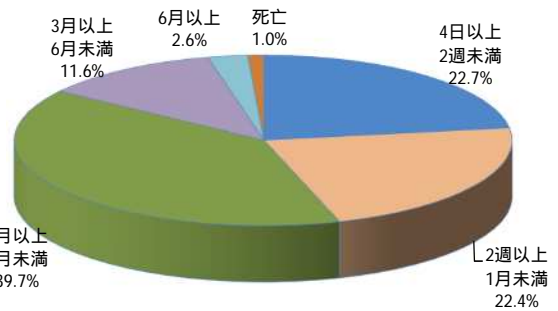
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(陸上貨物運送業：388人)

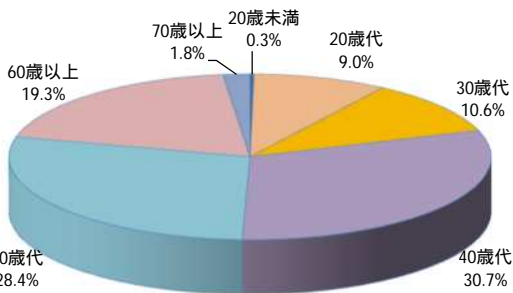
(1)事業場規模別の状況



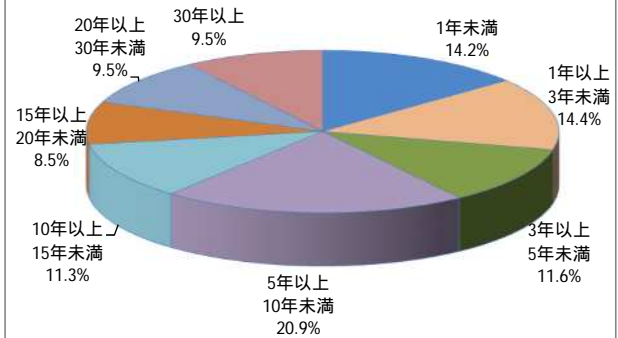
(2)被災程度別の状況



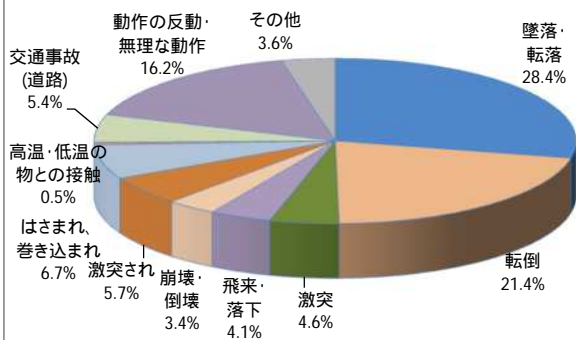
(3)年齢別の状況



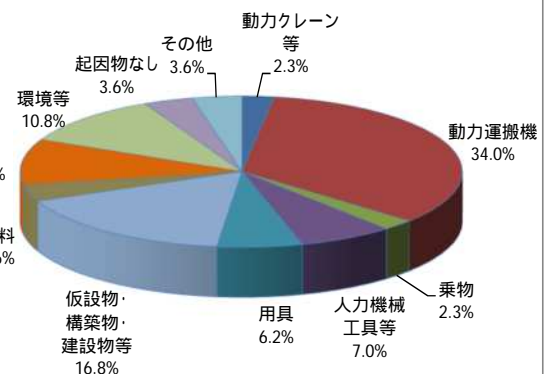
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

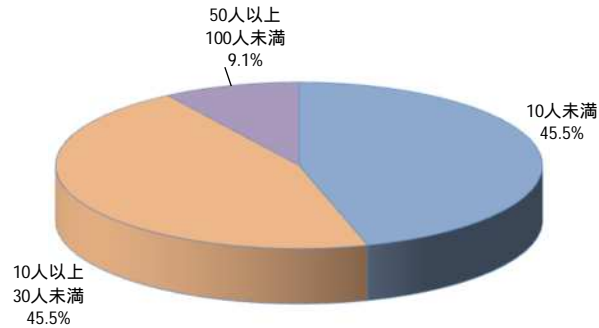


16.林業業における労働災害発生状況(令和3年)

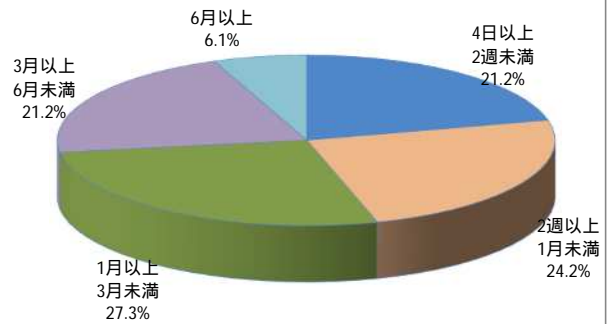
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(林業：33人)

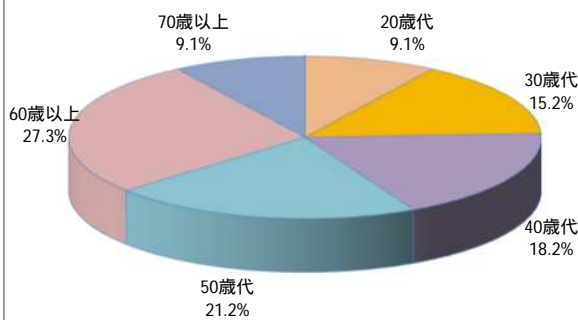
(1)事業場規模別の状況



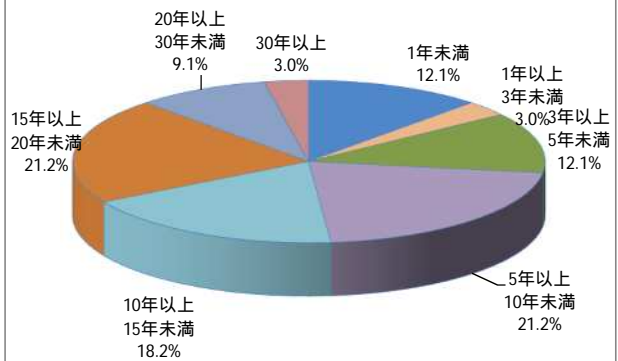
(2)被災程度別の状況



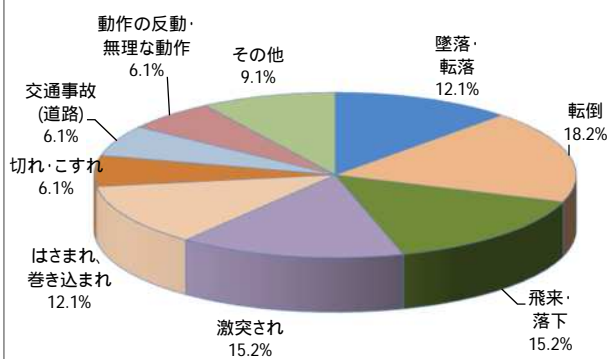
(3)年齢別の状況



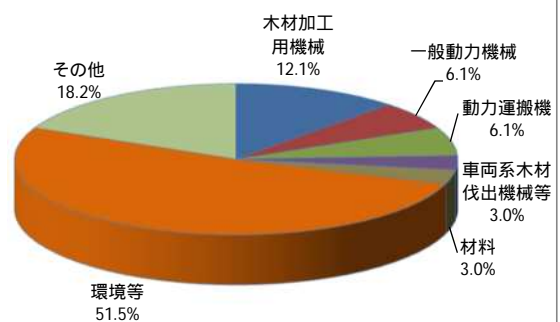
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

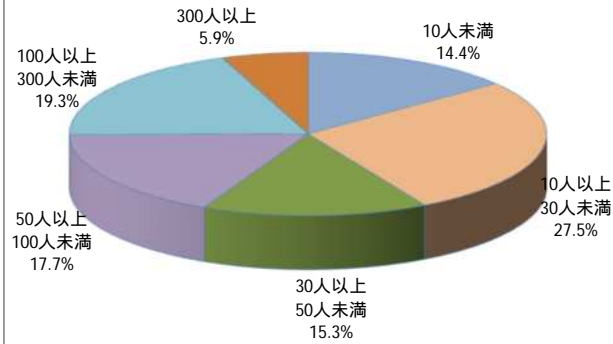


17.第三次産業における労働災害発生状況(令和3年)

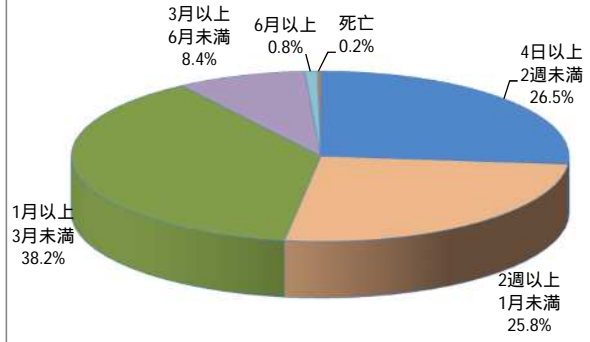
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(第三次産業：1347人)

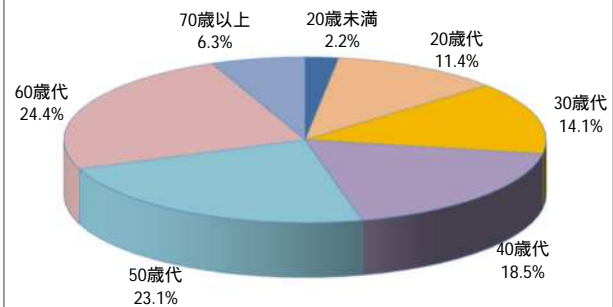
(1)事業場規模別の状況



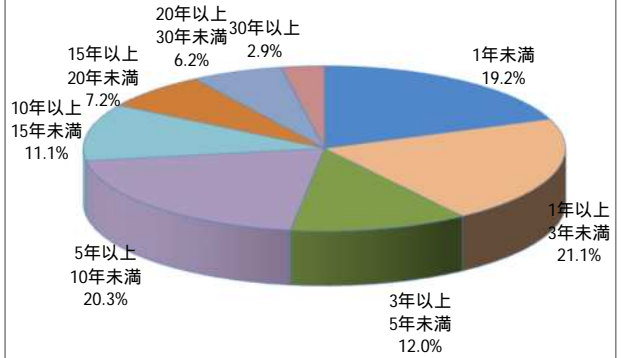
(2)被災程度別の状況



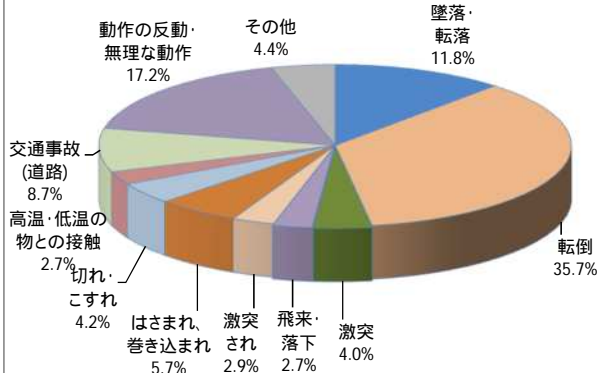
(3)年齢別の状況



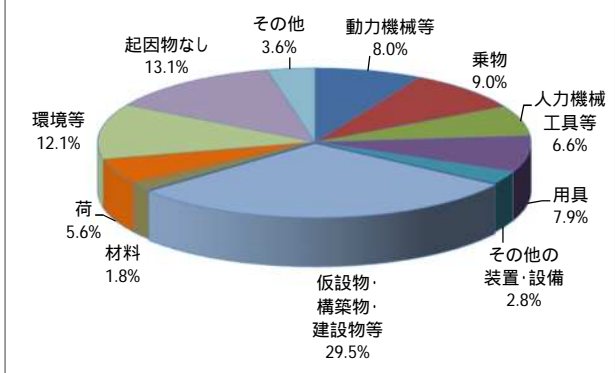
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

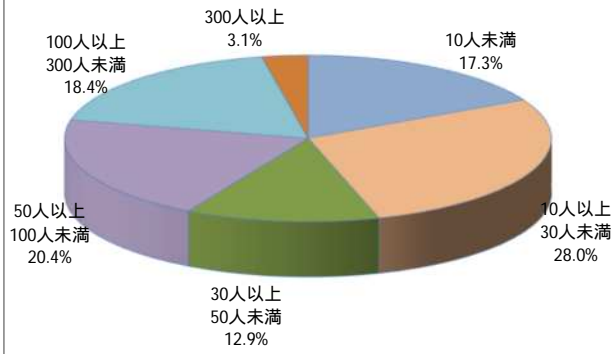


17-1.商業における労働災害発生状況(令和3年)

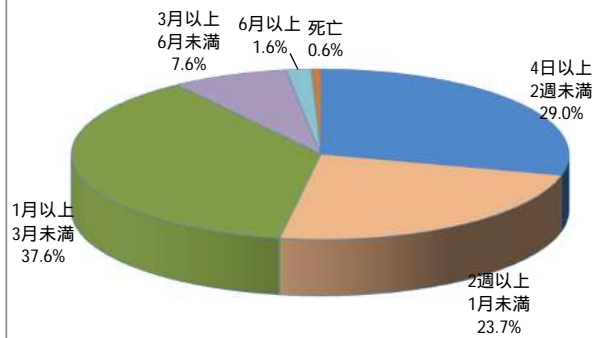
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(商業：490人)

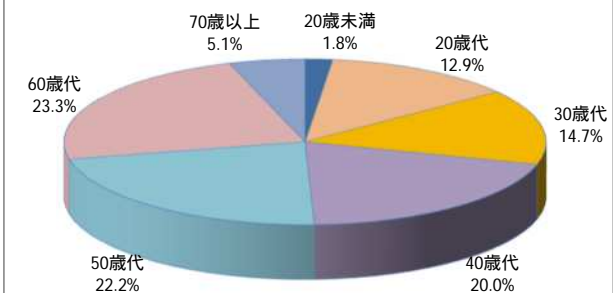
(1)事業場規模別の状況



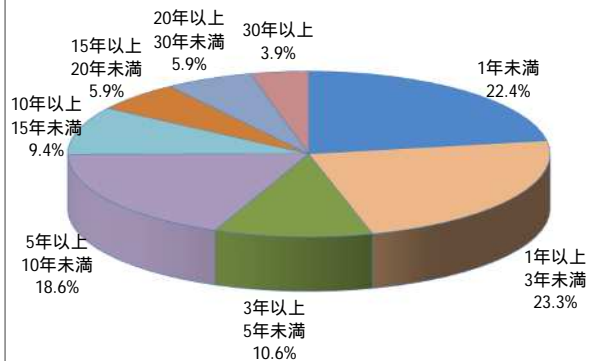
(2)被災程度別の状況



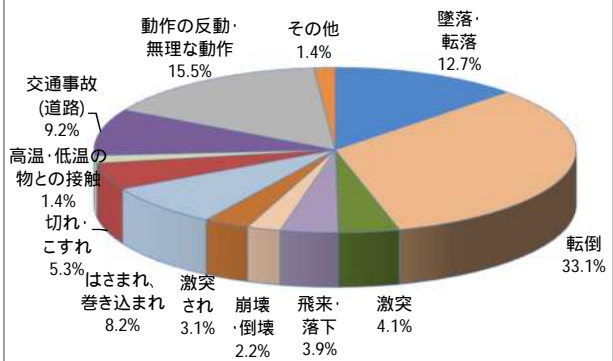
(3)年齢別の状況



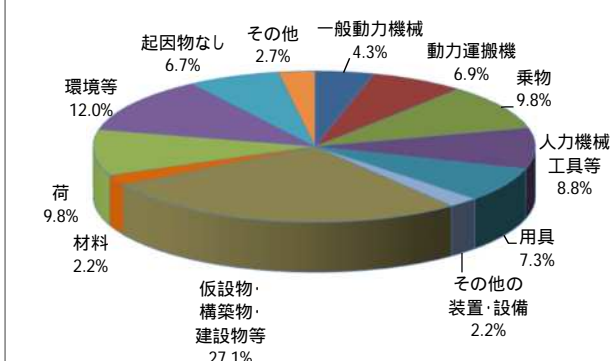
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

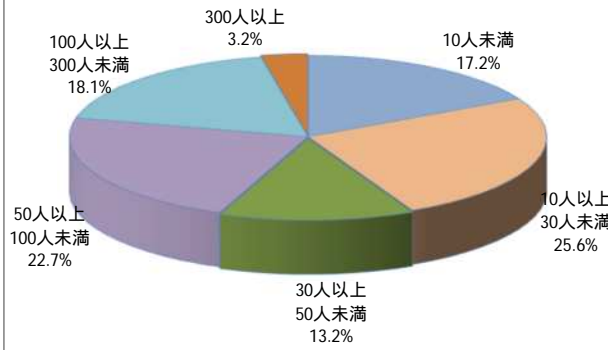


17-2.小売業における労働災害発生状況(令和3年)

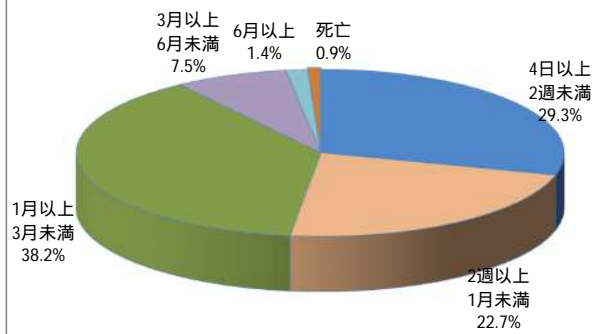
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(小売業：348人)

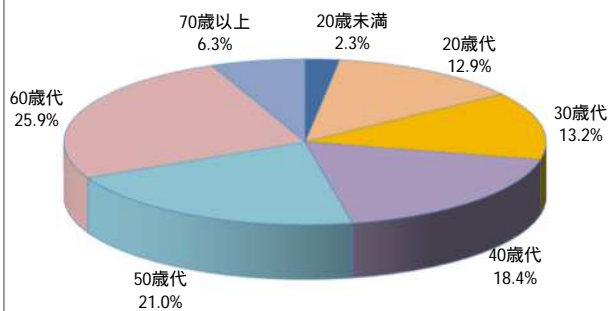
(1)事業場規模別の状況



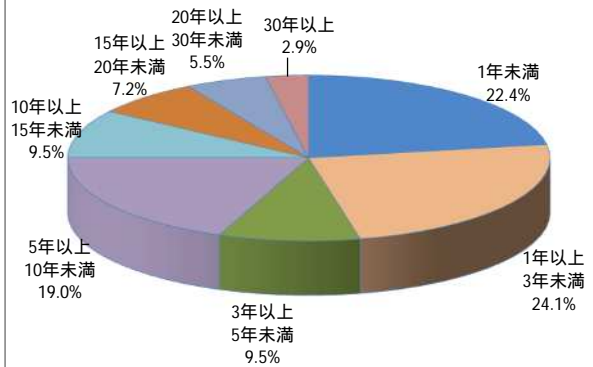
(2)被災程度別の状況



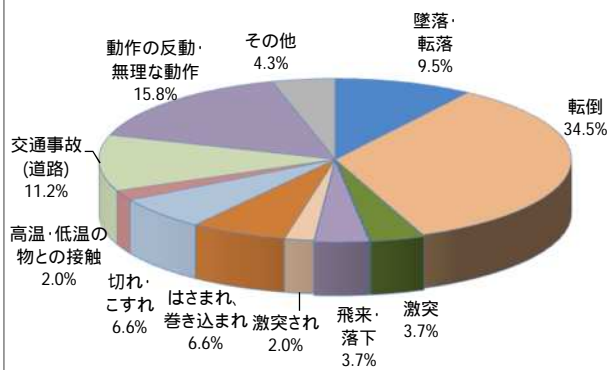
(3)年齢別の状況



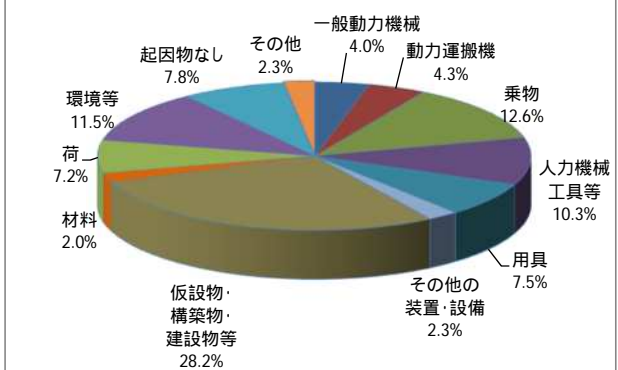
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

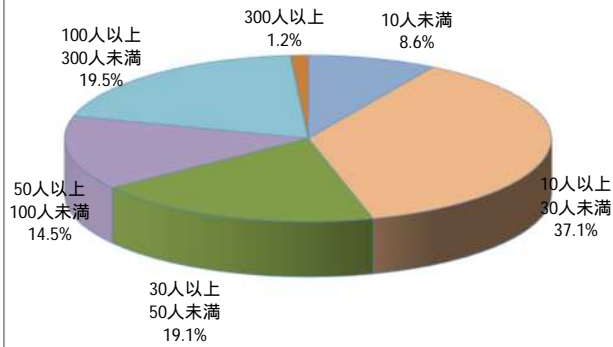


17-3.社会福祉施設における労働災害発生状況(令和3年)

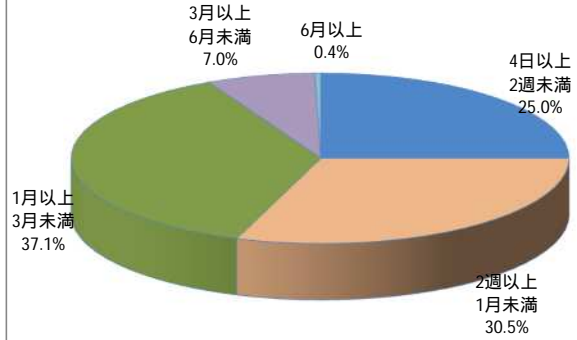
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(社会福祉施設：256人)

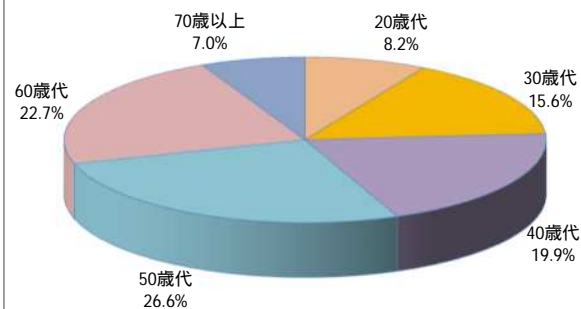
(1)事業場規模別の状況



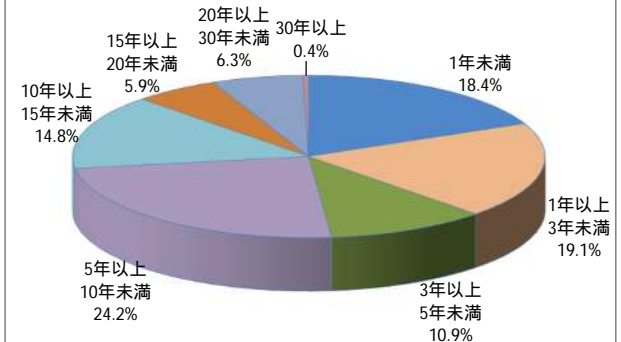
(2)被災程度別の状況



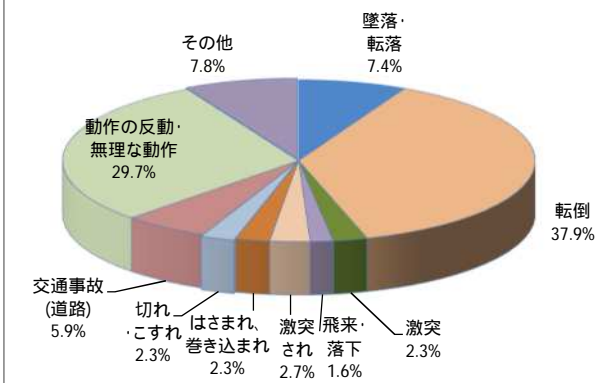
(3)年齢別の状況



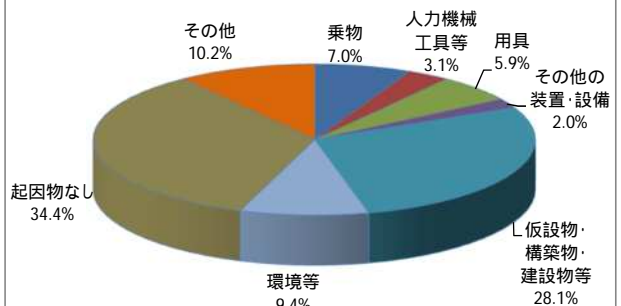
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



(6)起因物別の状況

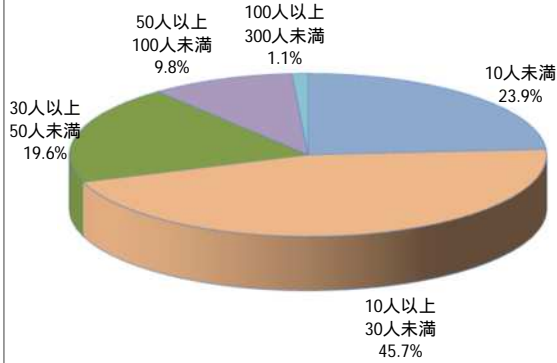


17-4.飲食店における労働災害発生状況(令和3年)

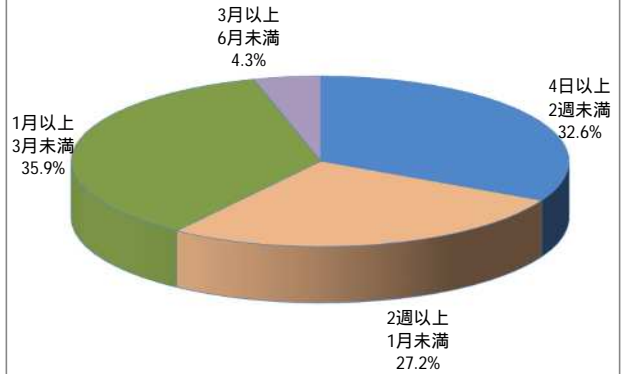
(新型コロナウイルス感染症を除く)

(飲食店：92人)

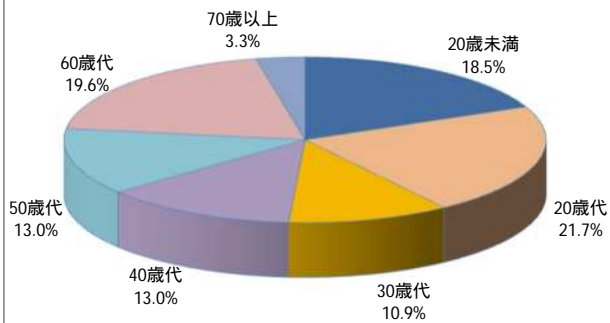
(1)事業場規模別の状況



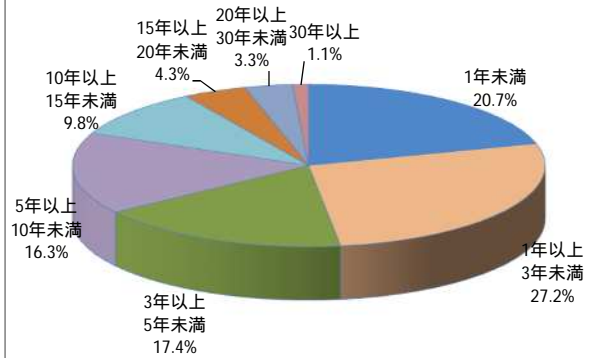
(2)被災程度別の状況



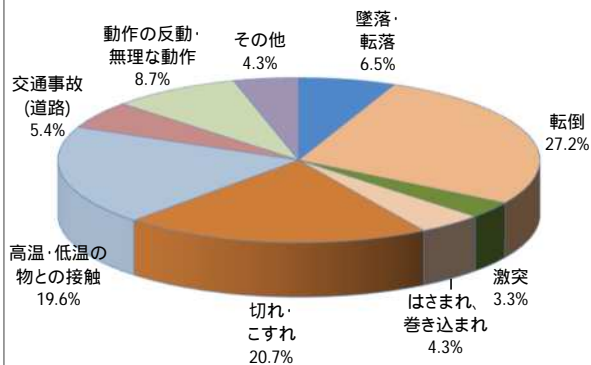
(3)年齢別の状況



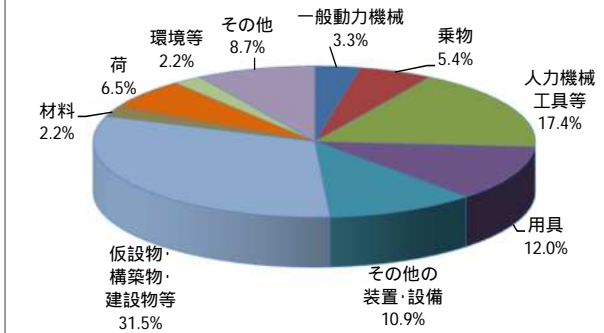
(4)経験年数別の状況



(5)事故の型別の状況



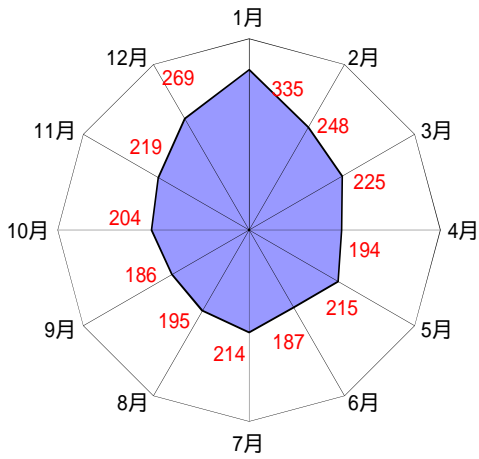
(6)起因物別の状況



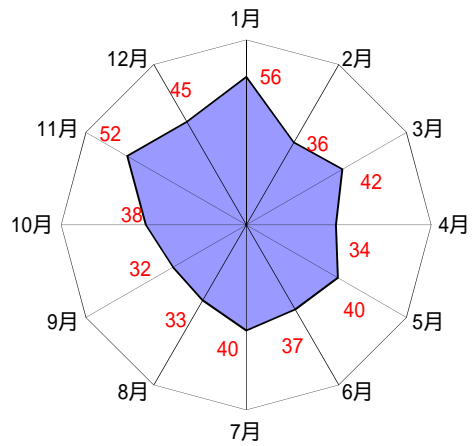
18.主要業種別・月別死傷災害発生状況(令和3年)

(新型コロナウイルス感染症を除く)

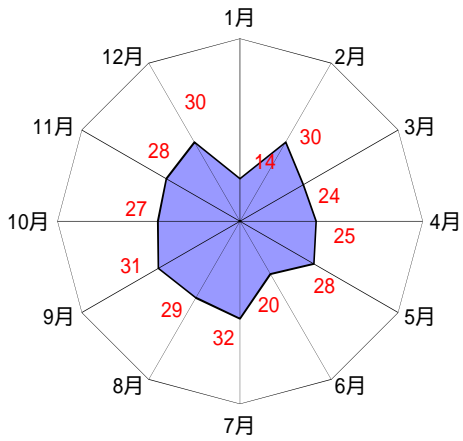
(1) 全産業 (2,691人)



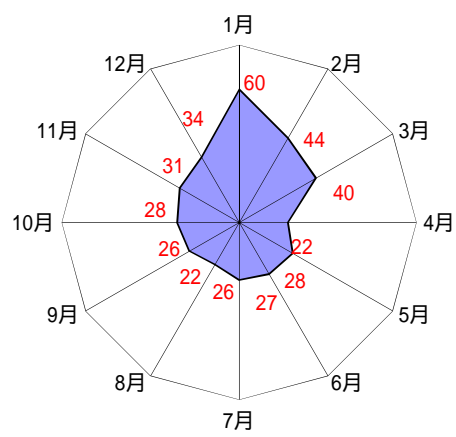
(2) 製造業 (485人)



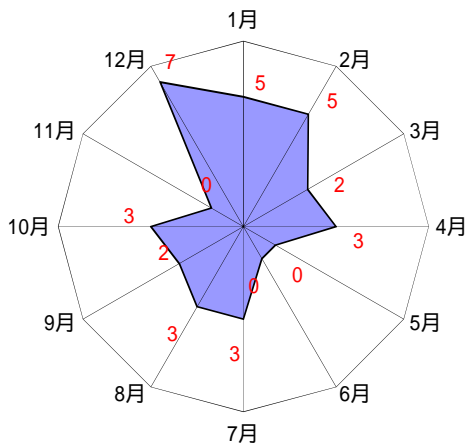
(3) 建設業 (318人)



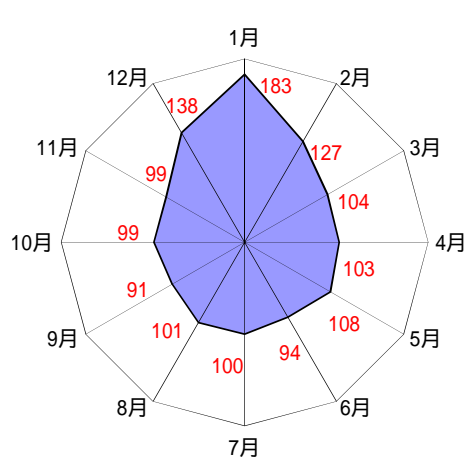
(4) 陸上貨物運送事業 (388人)



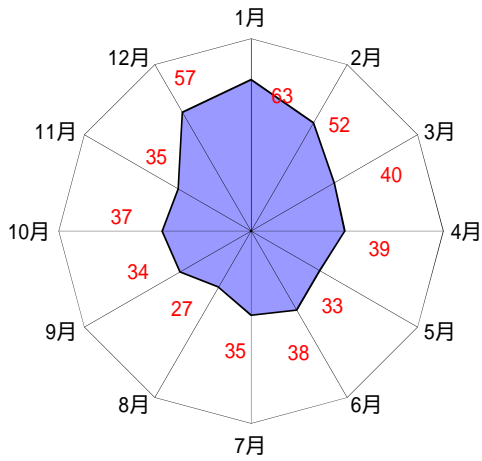
(5) 林業 (33人)



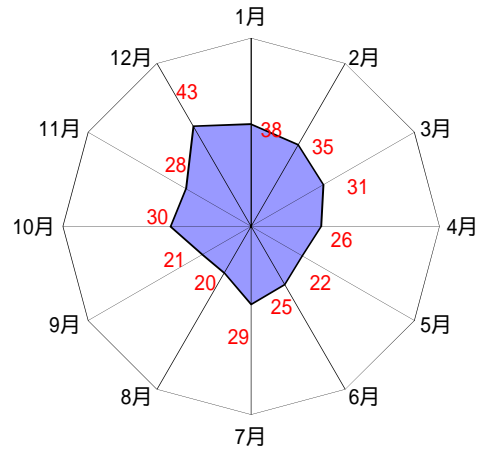
(6) 第三次産業 (1,347人)



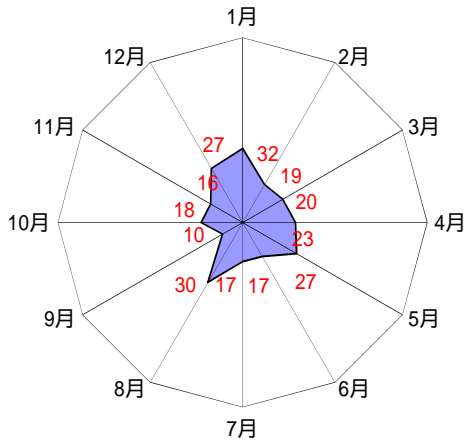
(7) 商業 (490人)



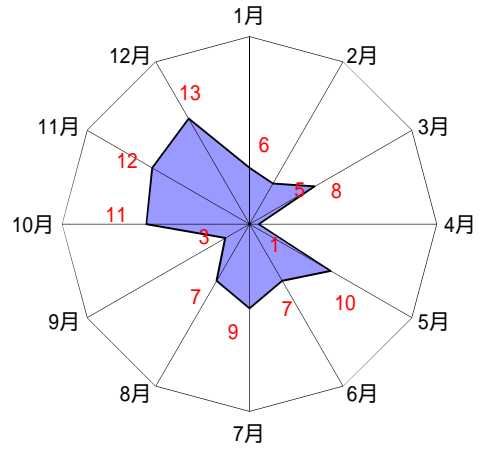
(8) 小売業 (348人)



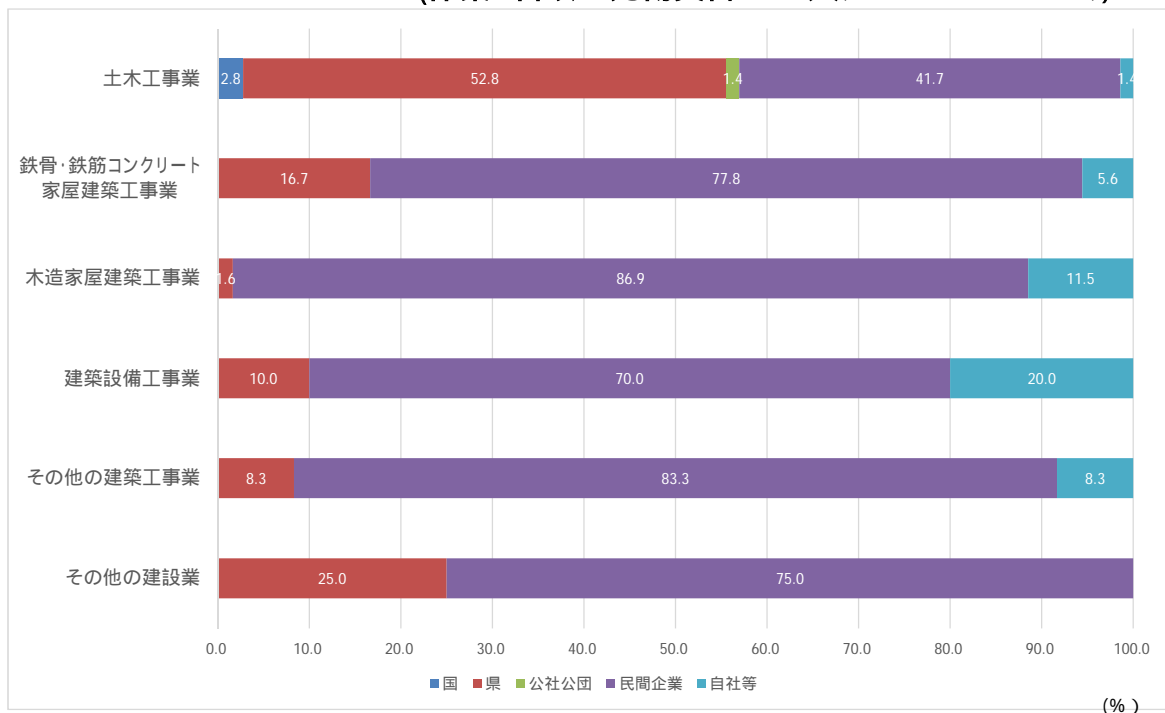
(9) 社会福祉施設 (256人)



(10) 飲食店 (92人)



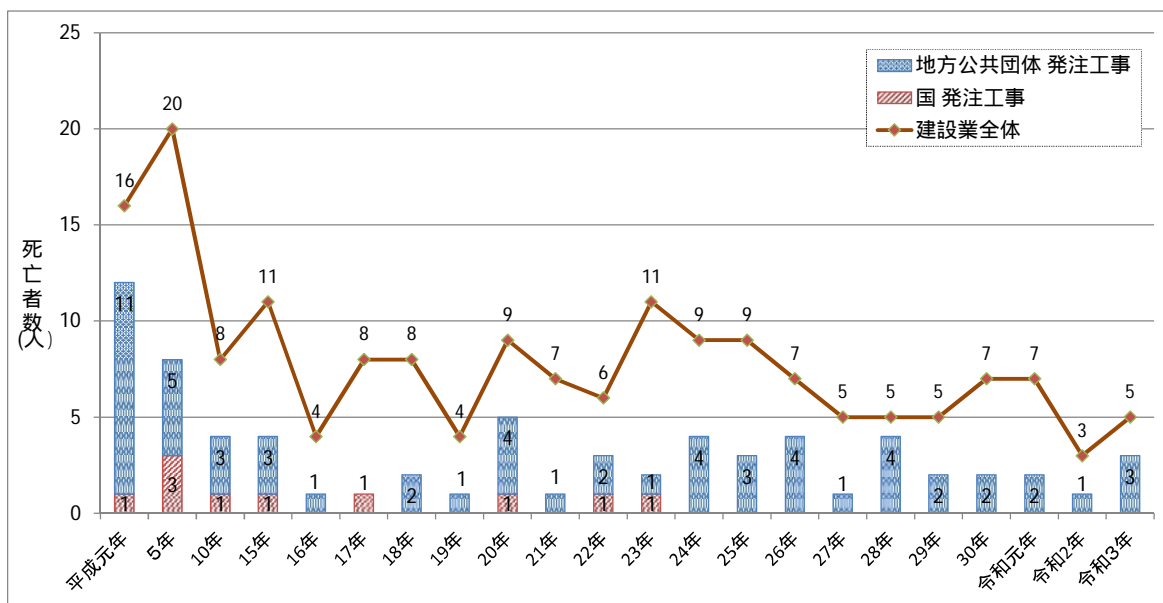
19.建設業における発注者別死傷災害発生状況(令和3年) (休業4日以上死傷災害 207人(新型コロナウイルス感染症を除く))



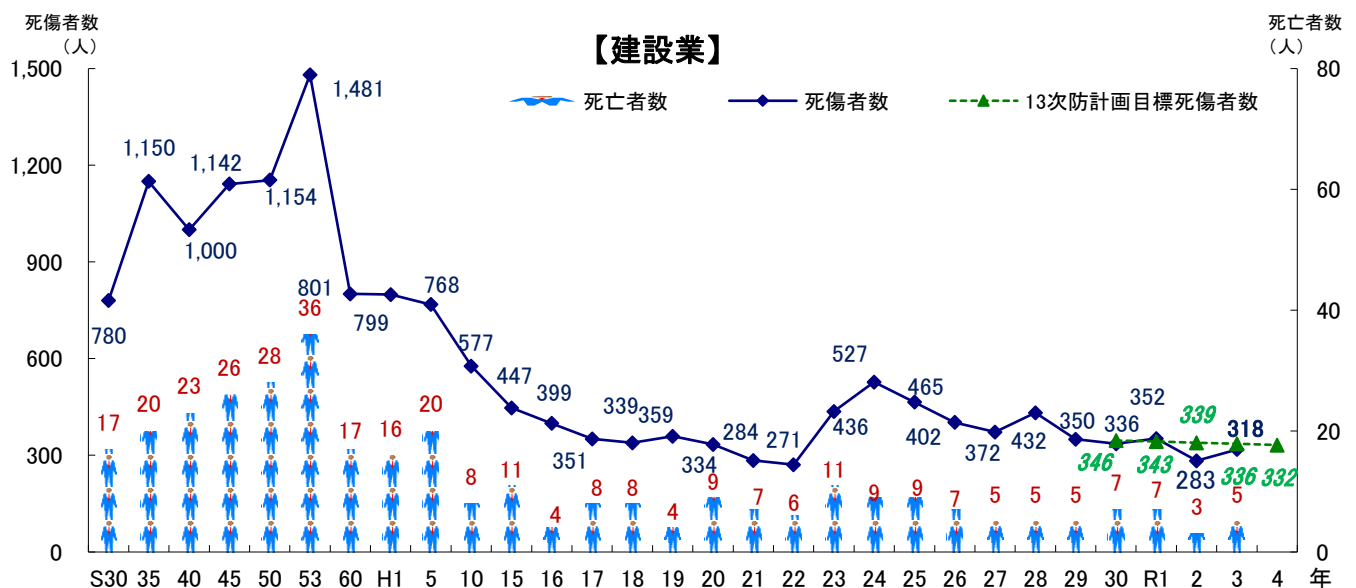
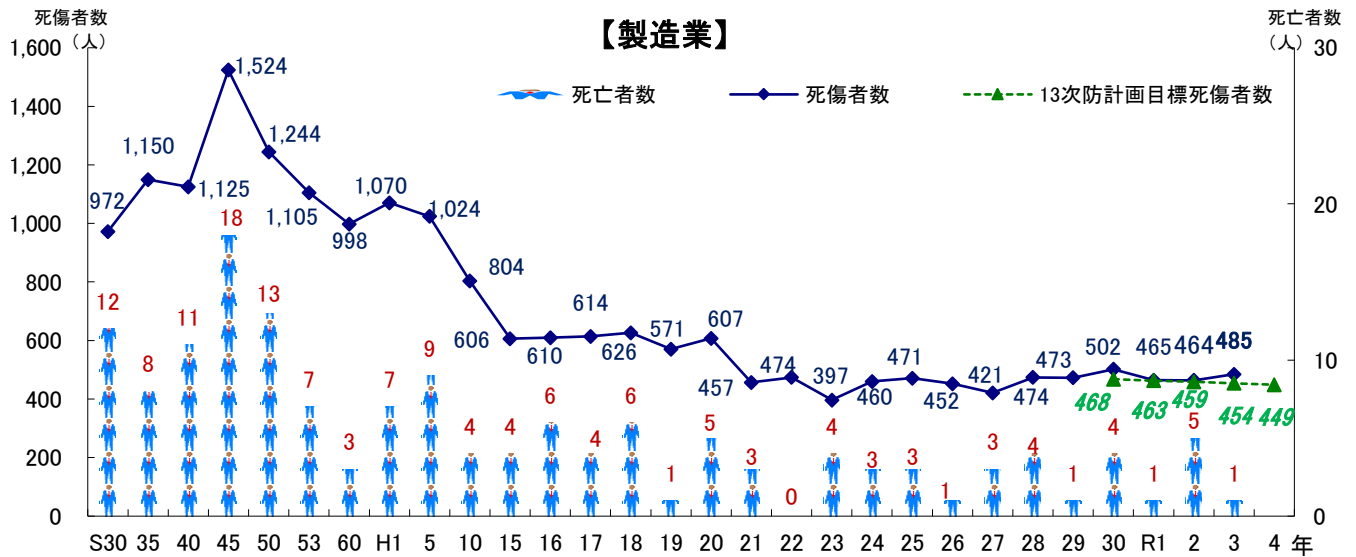
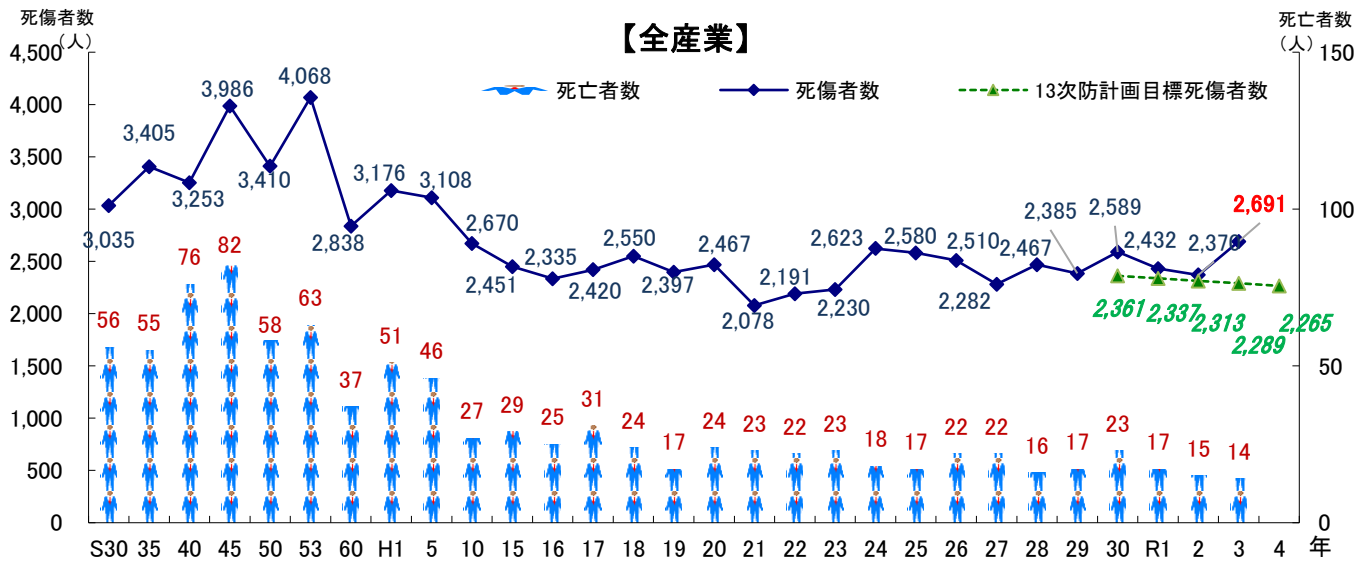
業種名	国	地方公	公社公団	民間	自社等	不明	合計
建設業全体	2	51	1	140	13	0	207
土木工事業	2	38	1	30	1	0	72
鉄骨・鉄筋コンクリート 家屋建築工事業	0	6	0	28	2	0	36
木造家屋建築工事業	0	1	0	53	7	0	61
建築設備工事業	0	1	0	7	2	0	10
その他の建築工事業	0	1	0	10	1	0	12
その他の建設業	0	4	0	12	0	0	16

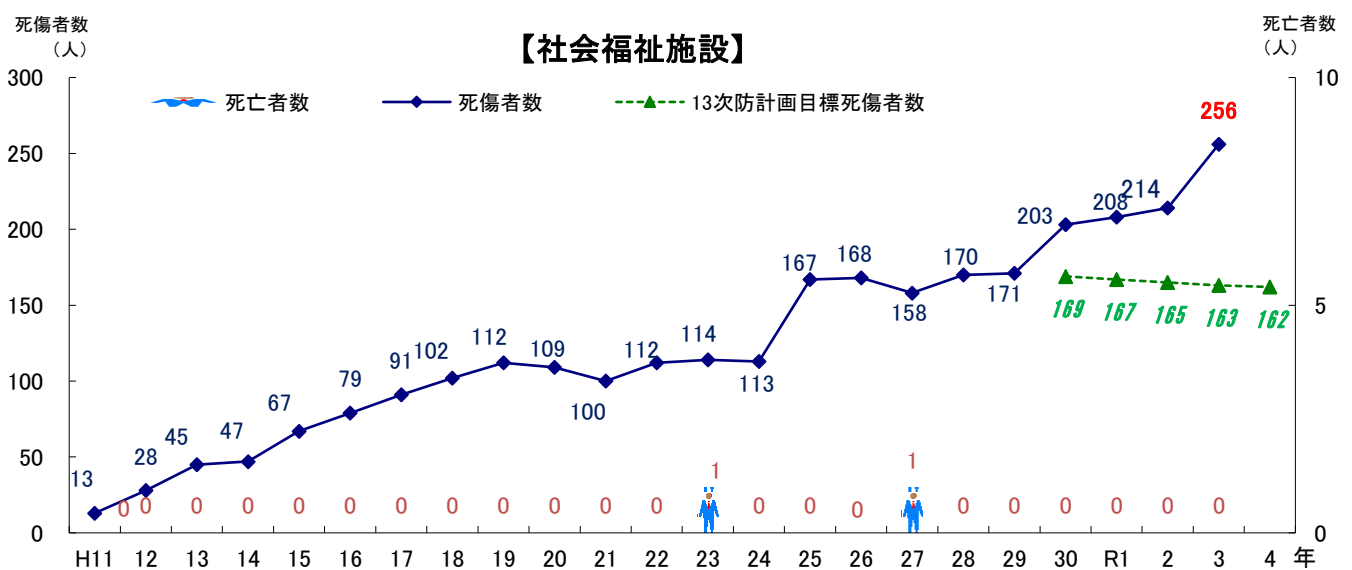
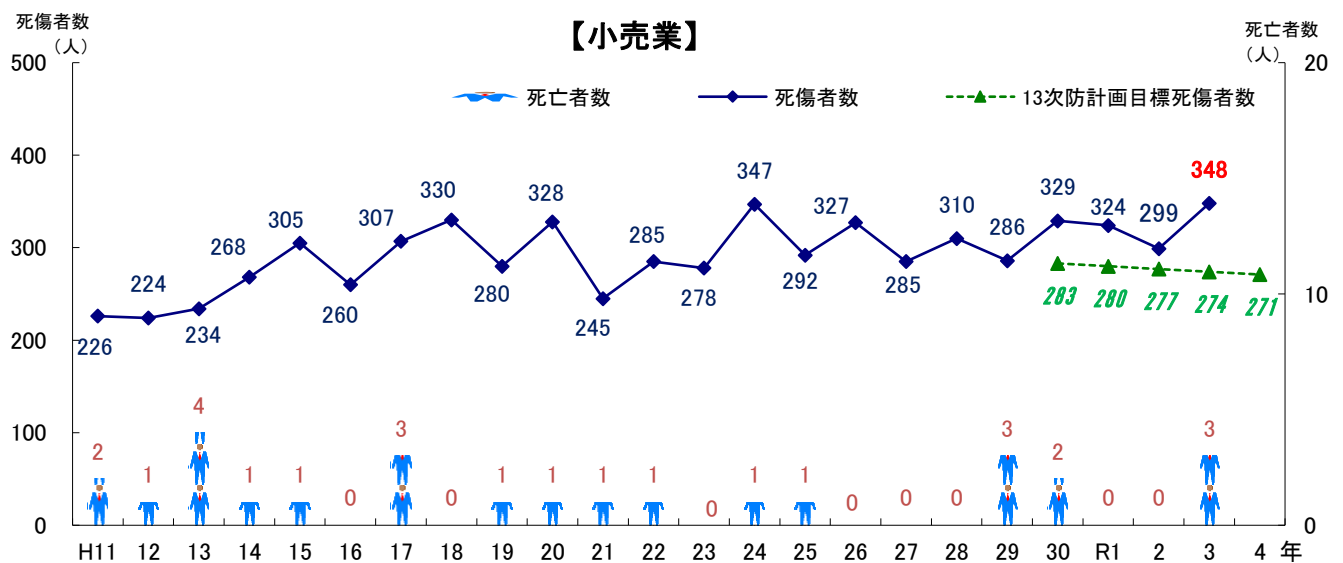
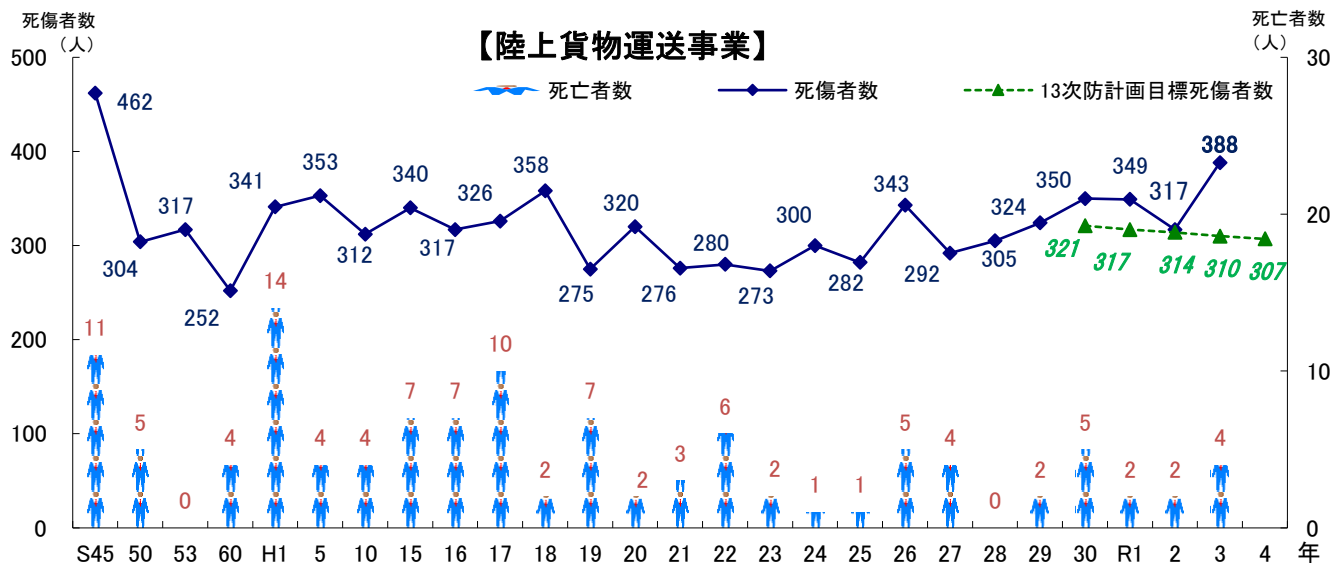
(人)

20.公共工事における死亡災害の推移(新型コロナウイルス感染症を除く)



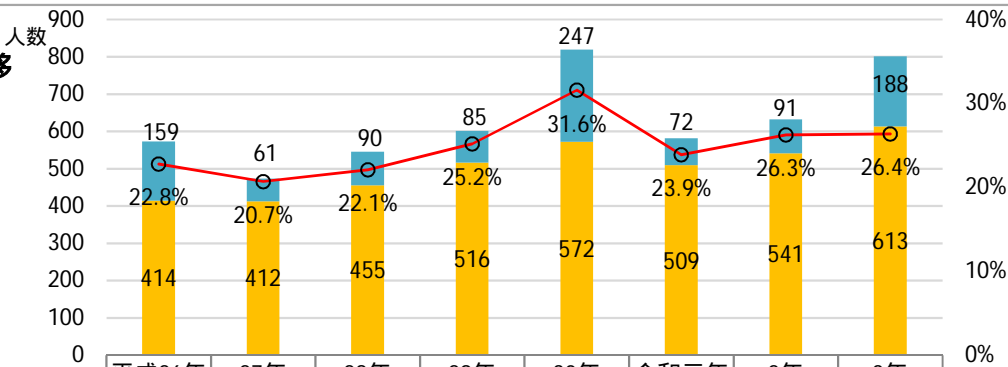
21.労働災害の推移と第13次労働災害防止計画 (平成30年～令和4年)死傷者数





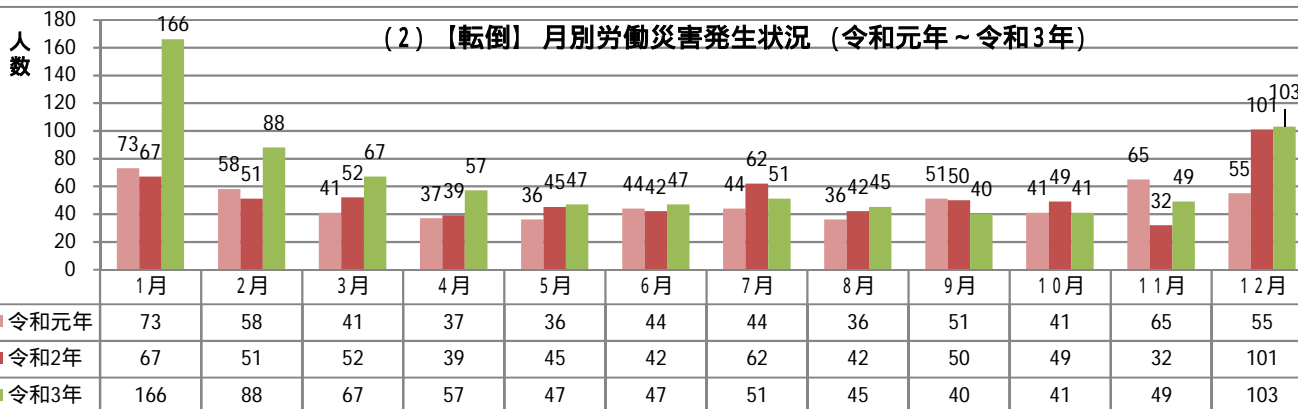
22.転倒災害の状況（令和3年）

(1) 転倒災害・年別推移
(平成26年～令和3年)



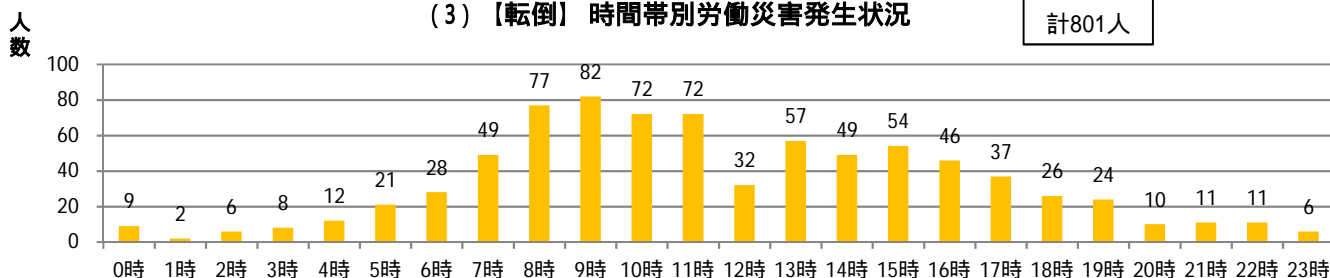
	平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
風雪等環境原因による転倒	159	61	90	85	247	72	91	188
風雪等以外による転倒	414	412	455	516	572	509	541	613
合計	573	473	545	601	819	581	632	801
全災害に占める転倒災害割合	22.8%	20.7%	22.1%	25.2%	31.6%	23.9%	26.3%	26.4%

(2) 【転倒】 月別労働災害発生状況（令和元年～令和3年）

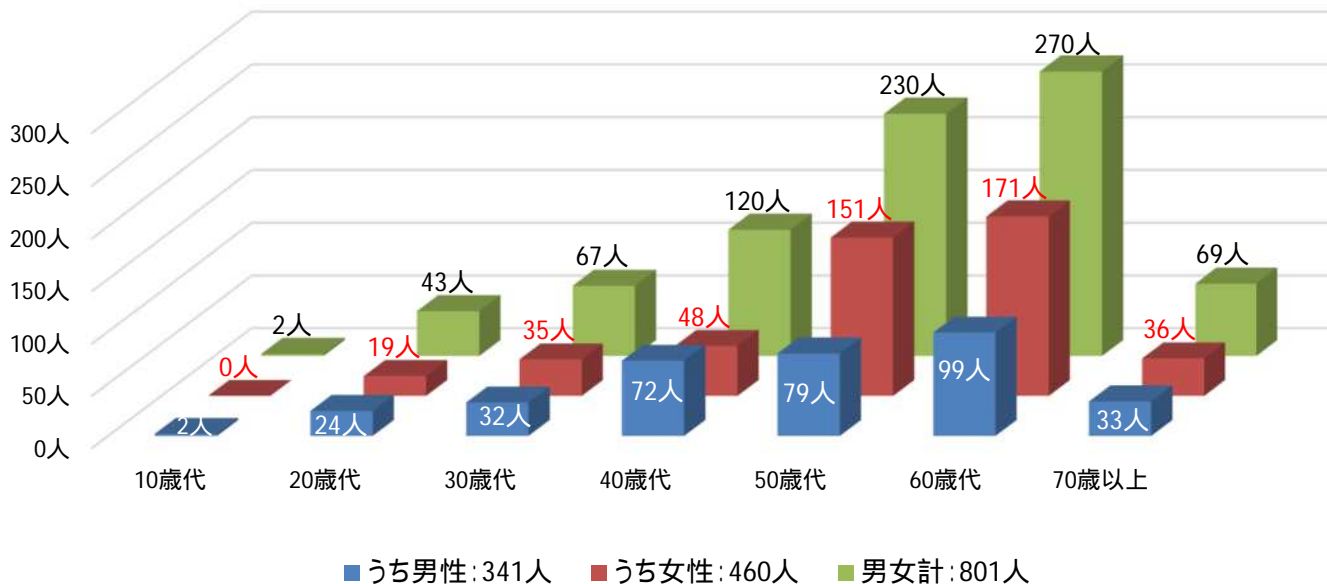


(3) 【転倒】 時間帯別労働災害発生状況

計801人

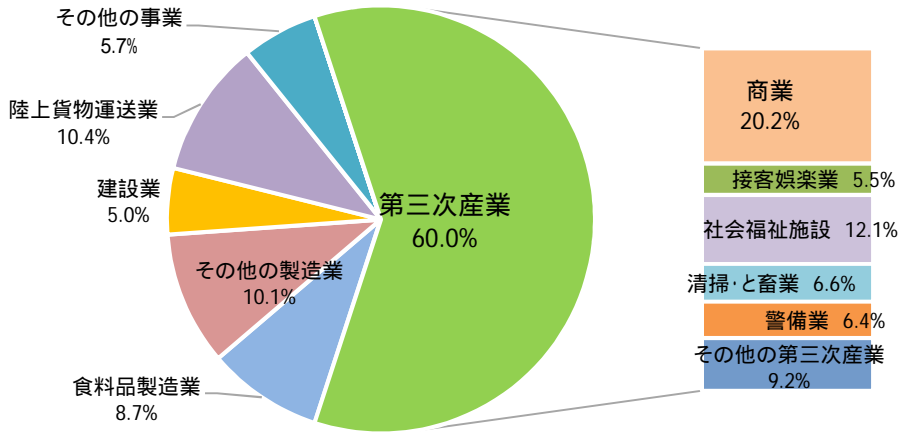


(4) 【転倒】 年齢別・男女別

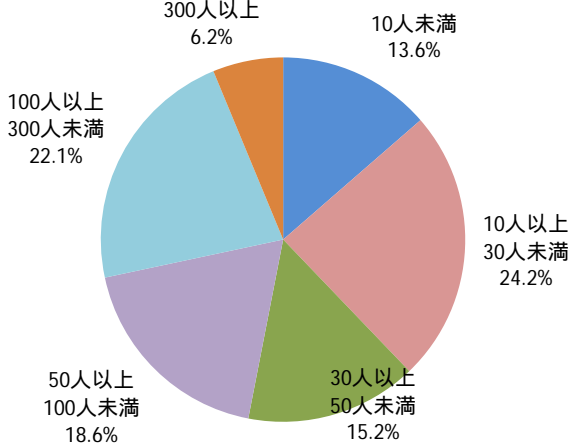


(5) 主要業種別転倒災害件数

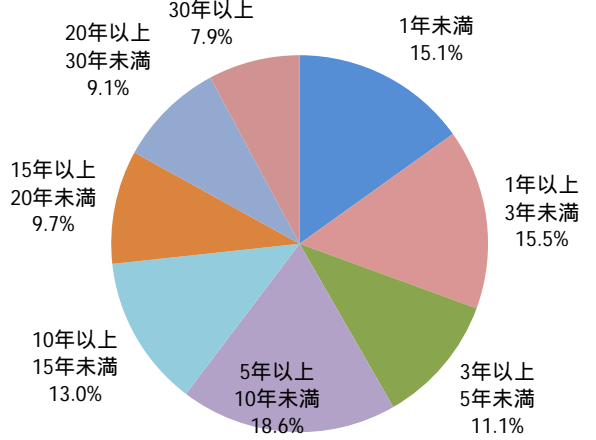
計801人



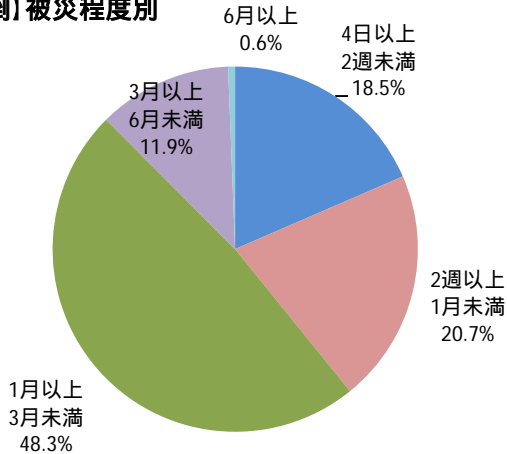
(6) 【転倒】事業場規模別



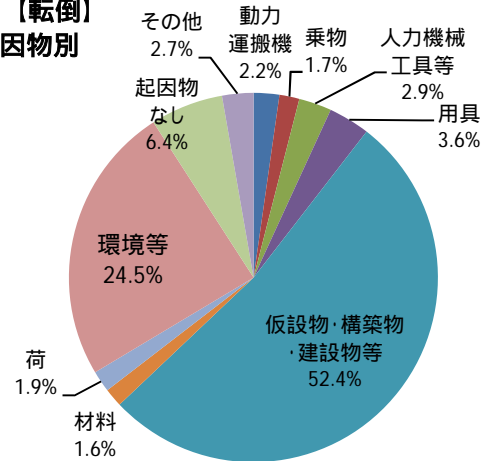
(7) 【転倒】経験年数別



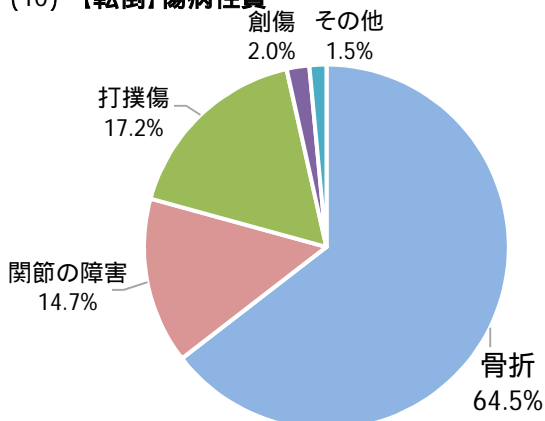
(8) 【転倒】被災程度別



(9) 【転倒】起因物別



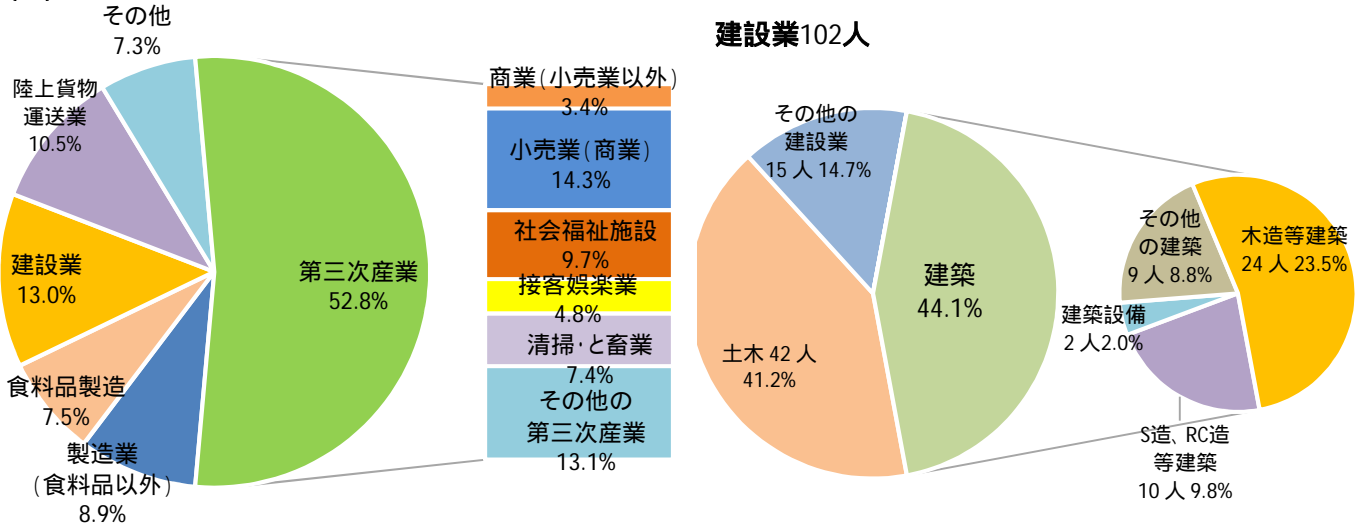
(10) 【転倒】傷病性質



23.高年齢労働者 災害の発生状況 (令和3年) (新型コロナウイルス感染症を除く)

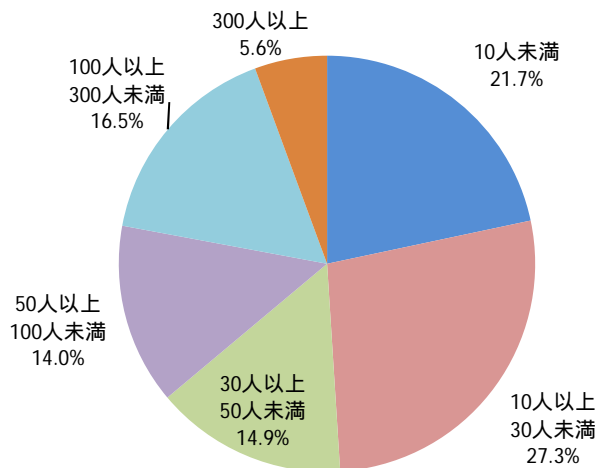
(本分析においては、60歳以上を高年齢労働者として分析した。高年齢労働者災害:784人)

(1) 主要業種別高年齢労働者死傷者数784人



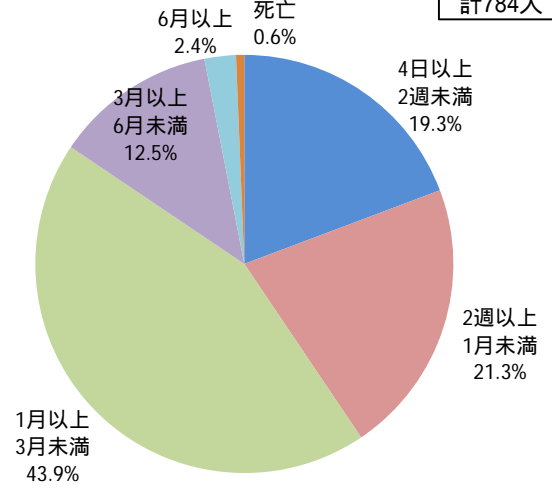
(2) 【高齢者】事業場規模別死傷者数

計784人



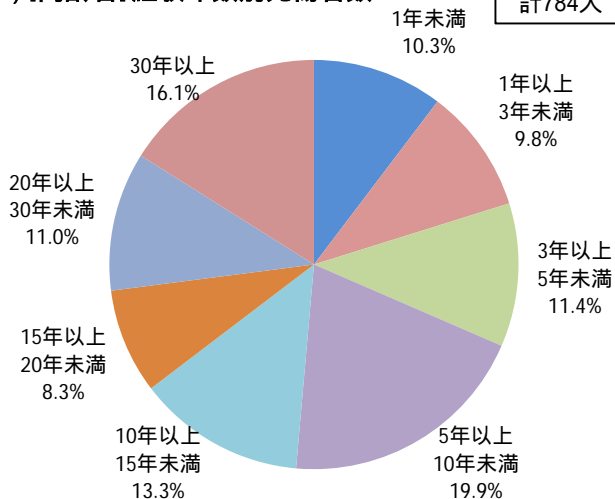
(3) 【高齢者】被災程度別死傷者数

計784人



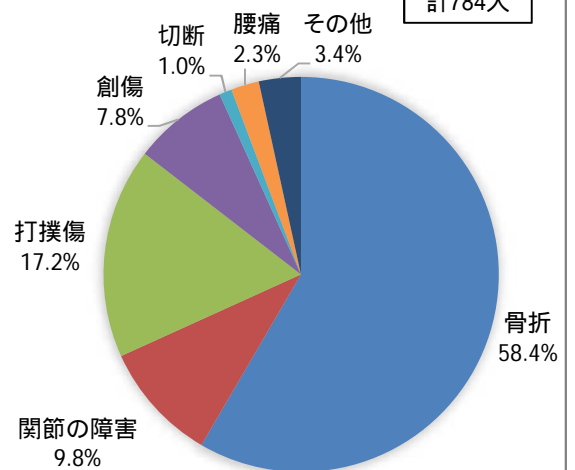
(4) 【高齢者】経験年数別死傷者数

計784人



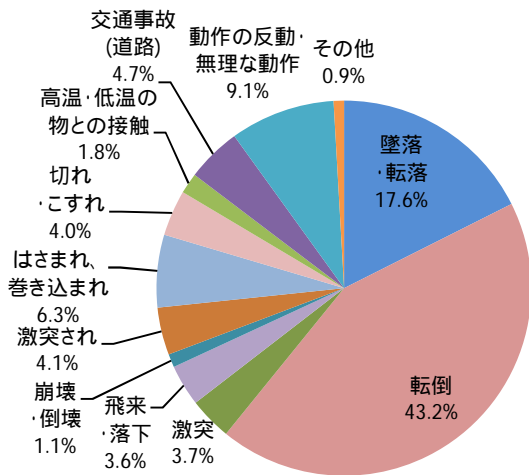
(5) 【高齢者】傷病性質別死傷者数

計784人



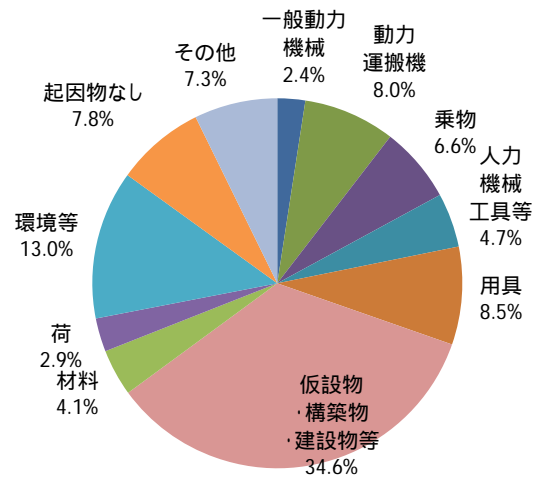
(6)【高年齢者】事故の型別死傷者数

計784人



(7)【高年齢者】起因物別死傷者数

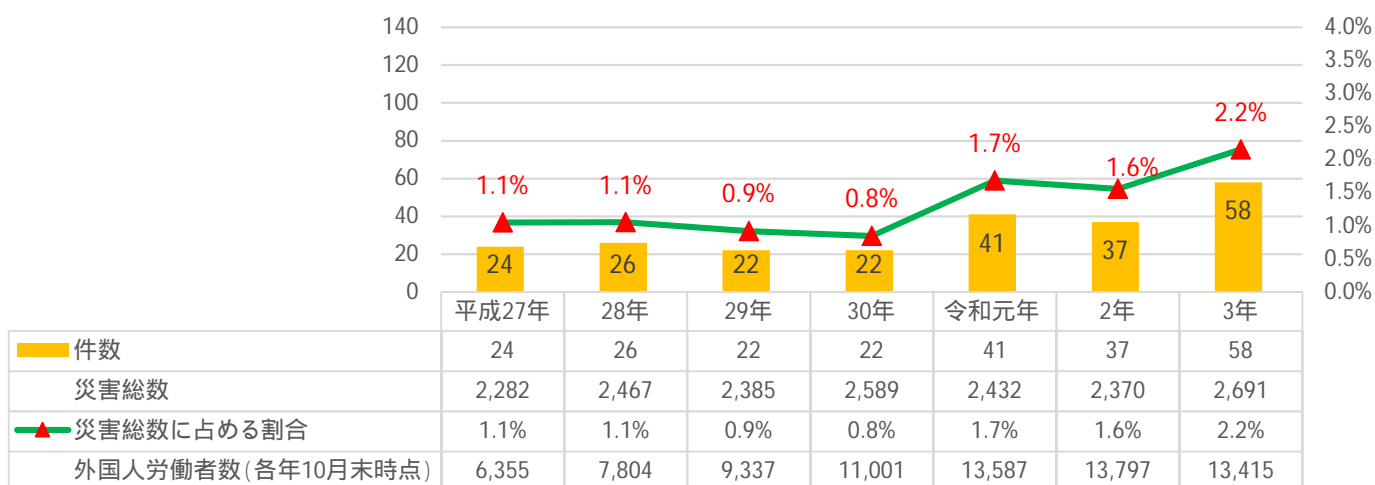
計784人



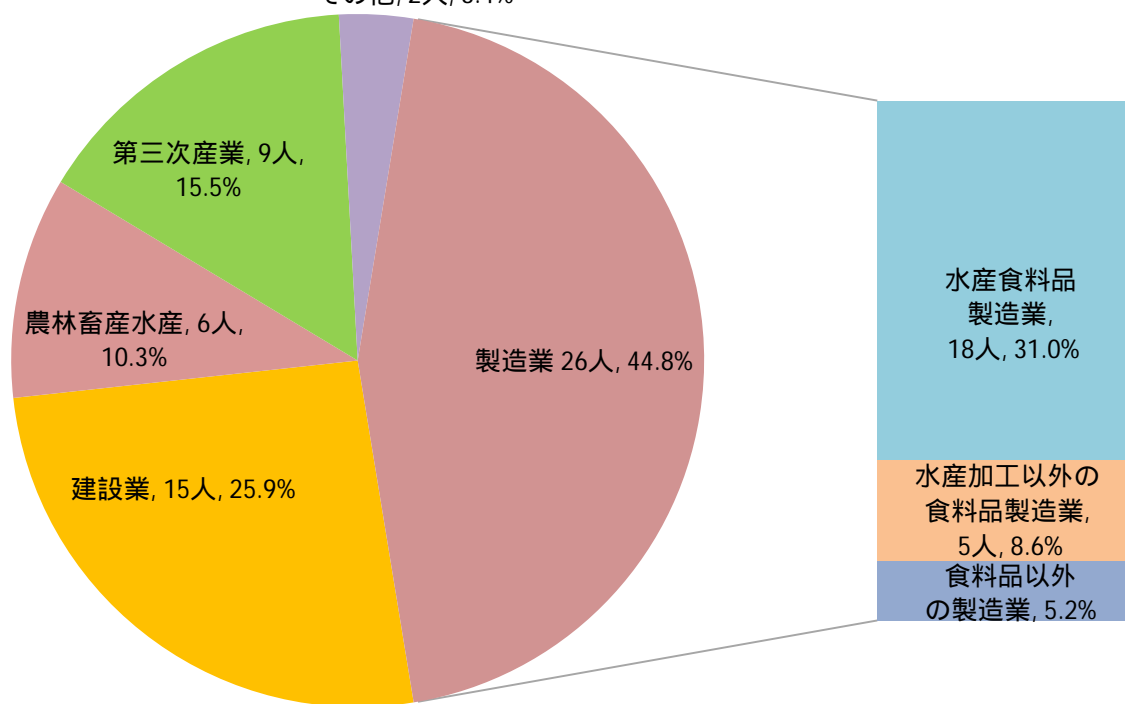
24.外国人労働者災害の発生状況(令和3年)(新型コロナウイルス感染症を除く)

(外国人労働者災害:58人)

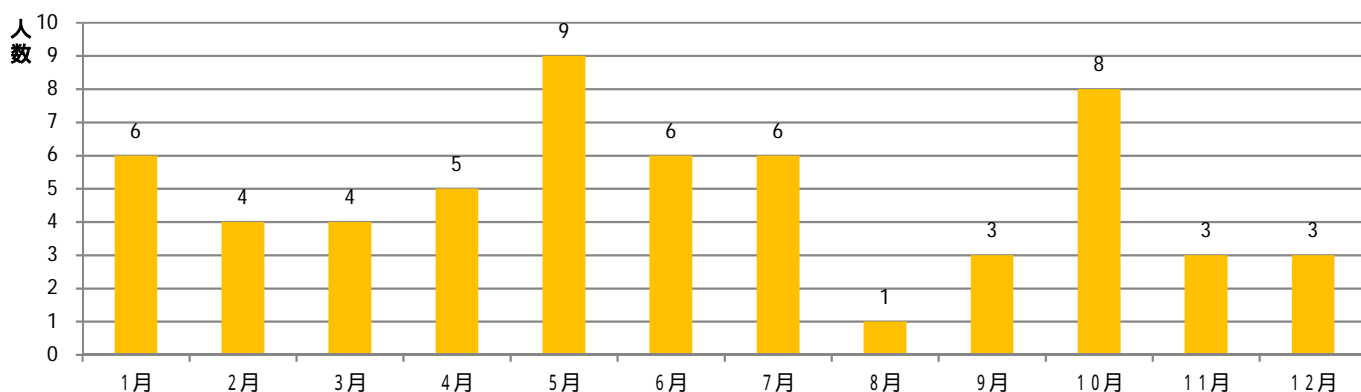
(1)年別推移【外国人労働者死傷者】



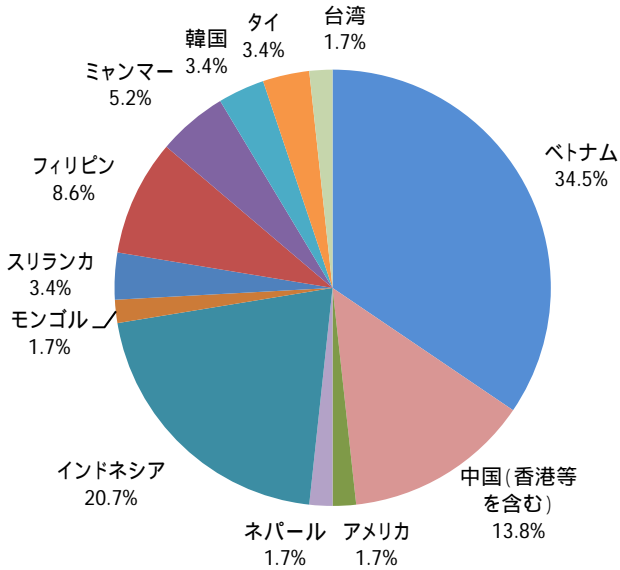
(2)業種別死傷者数【外国人労働者】58人
その他, 2人, 3.4%



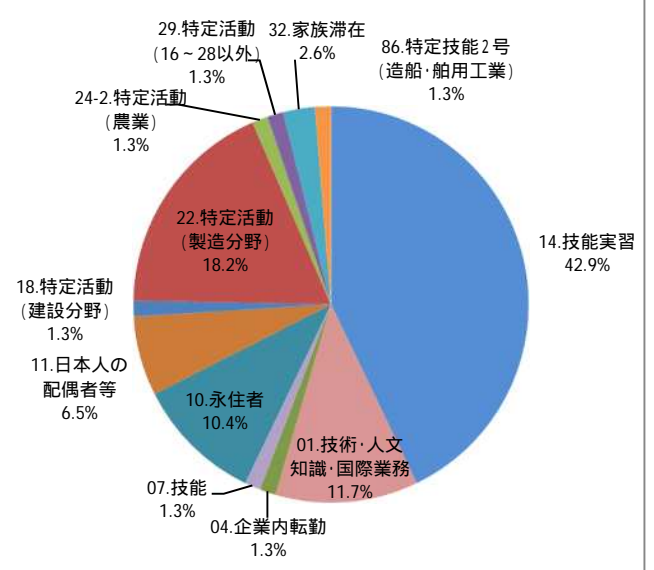
(3)月別労働災害発生状況【外国人災害】58人



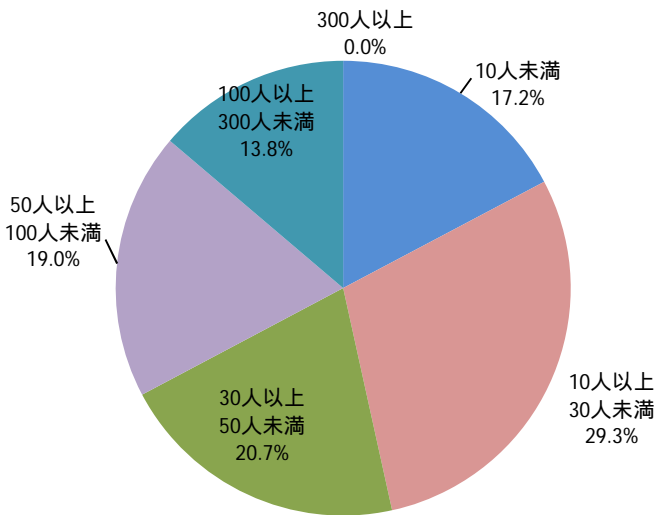
(4) 国籍別【外国人災害】



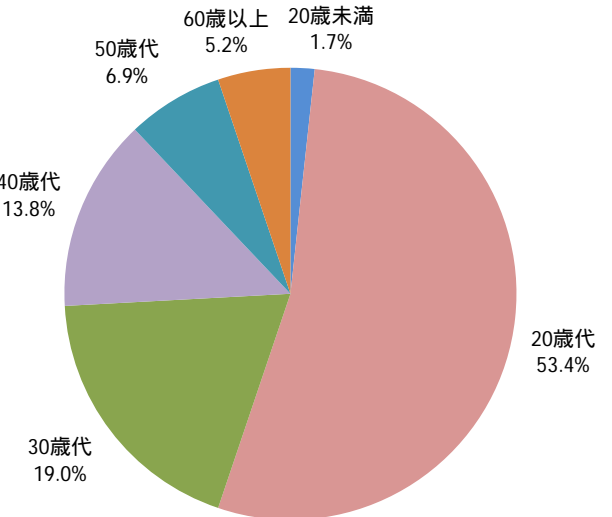
(5) 在留資格別【外国人災害】



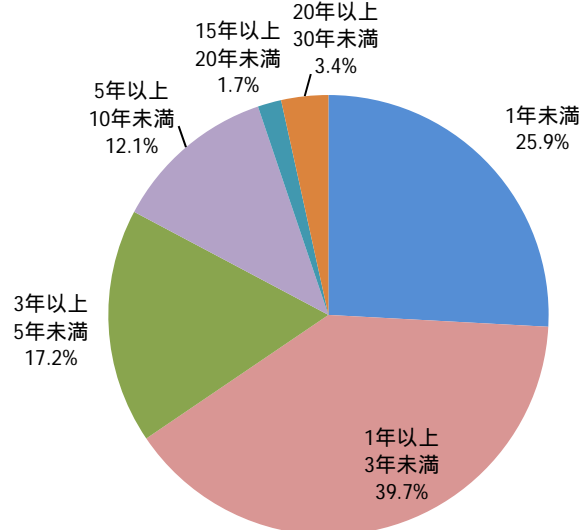
(6) 労働者規模別【外国人災害】



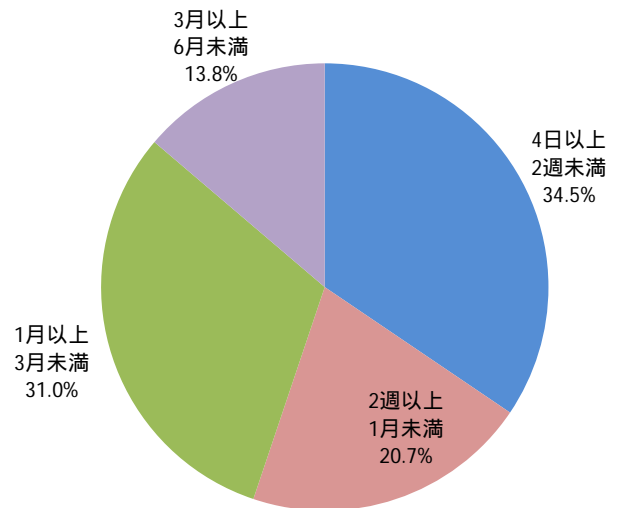
(7) 年代別【外国人災害】



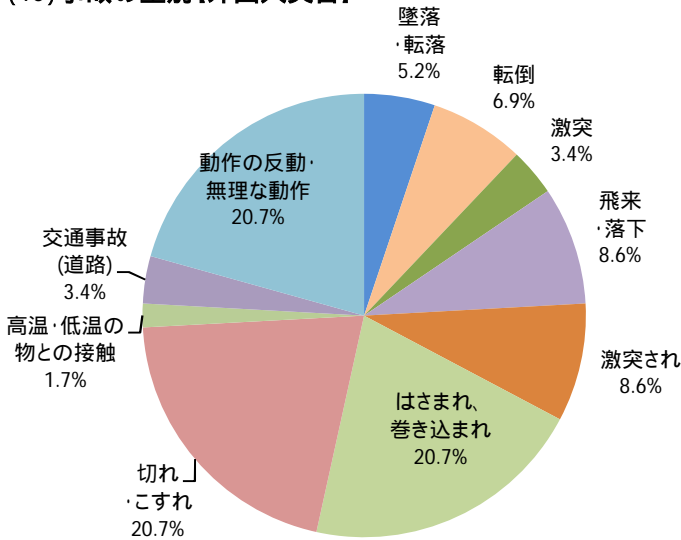
(8) 経験年数別【外国人災害】



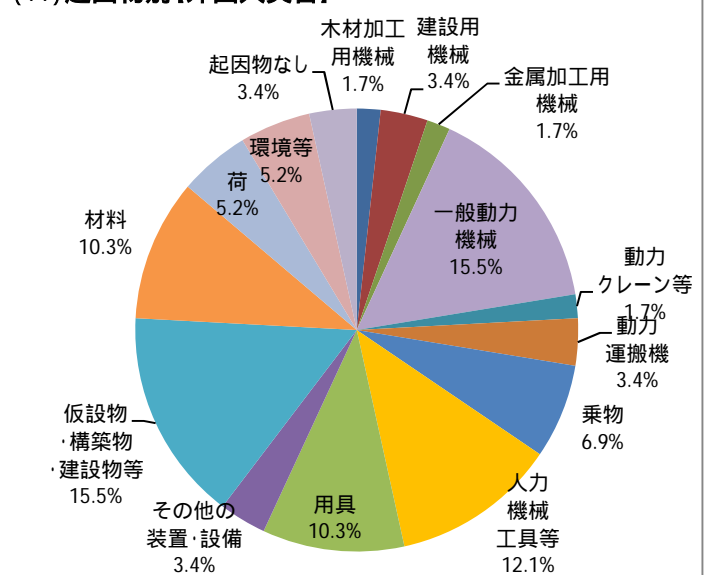
(9) 休業見込み期間別【外国人災害】



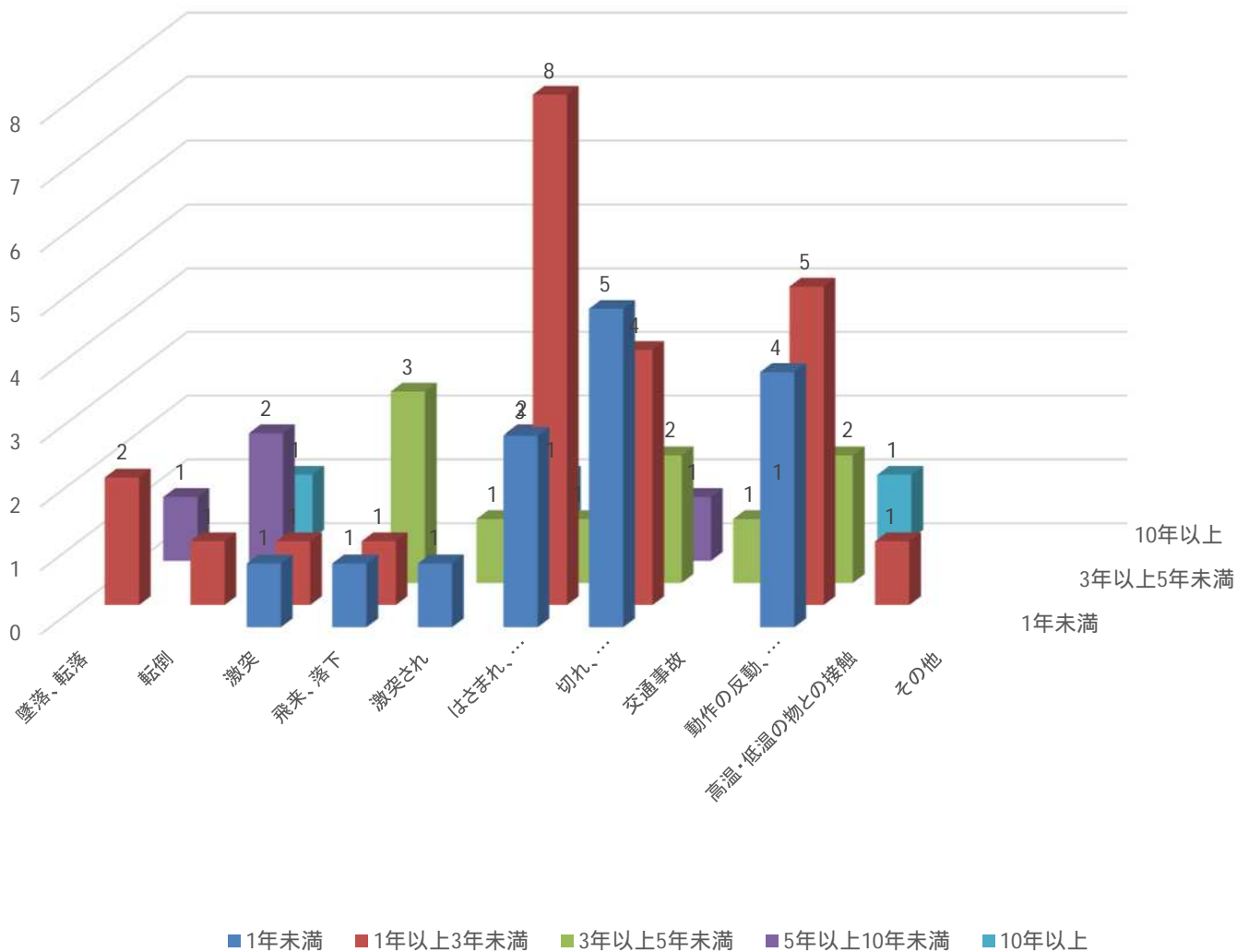
(10) 事故の型別【外国人災害】



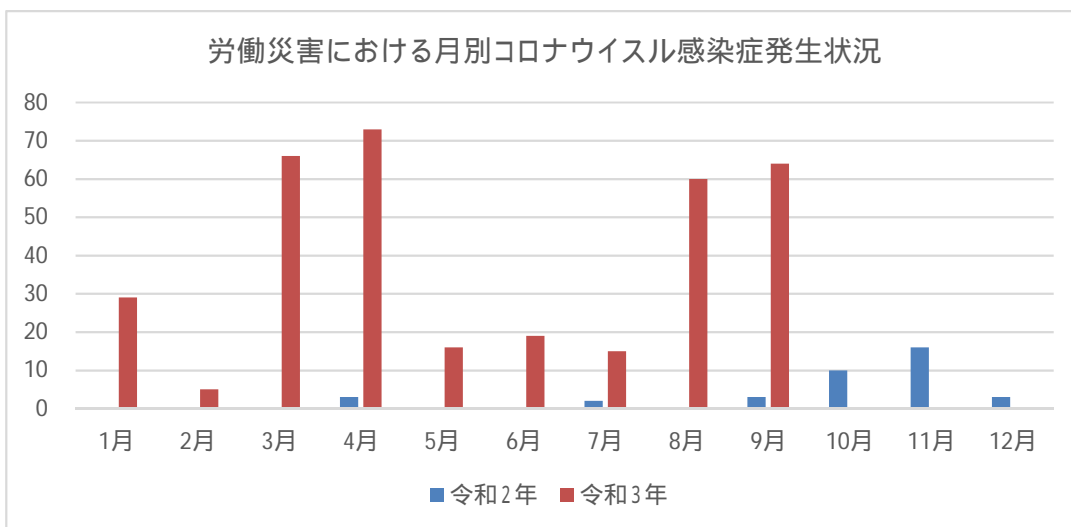
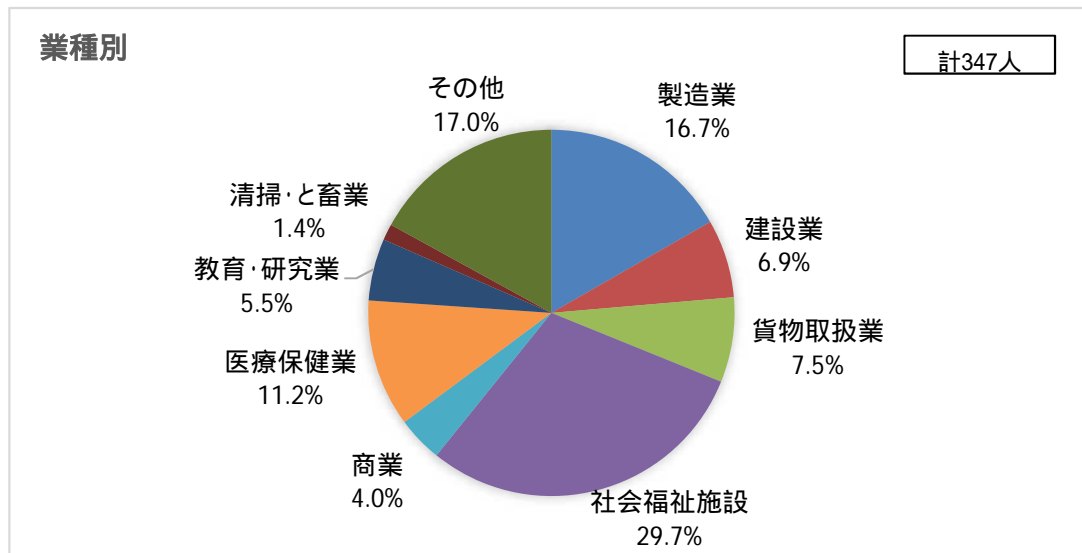
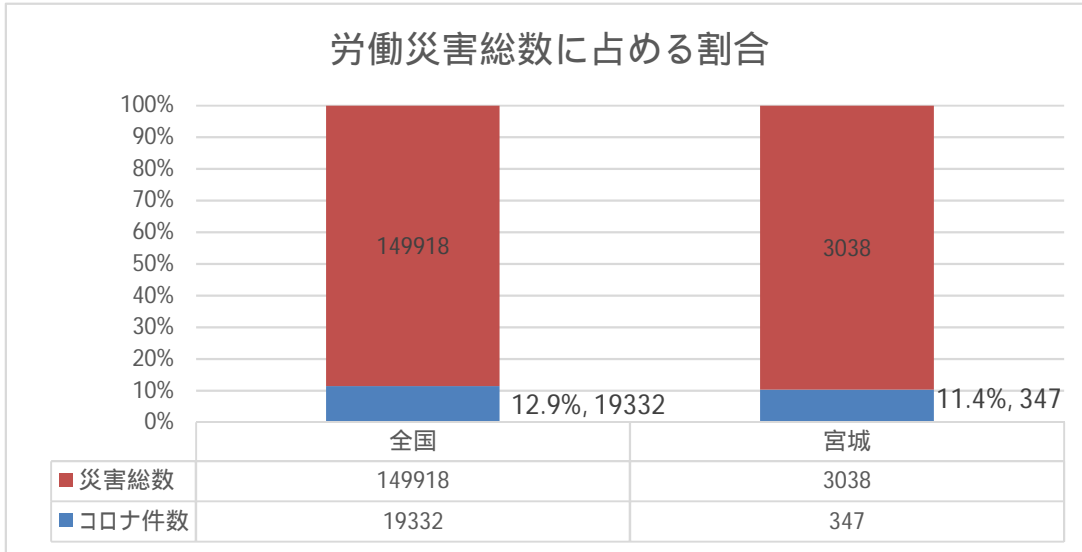
(11) 起因物別【外国人災害】



(12) 事故の型・経験期間別【外国人災害】

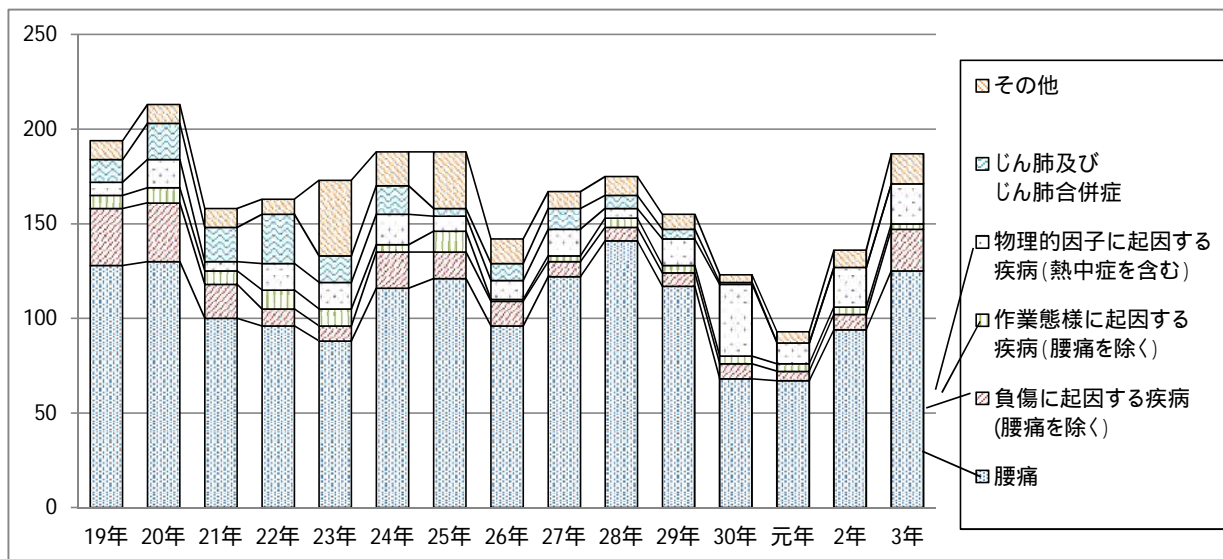


25.新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害発生状況(令和3年)



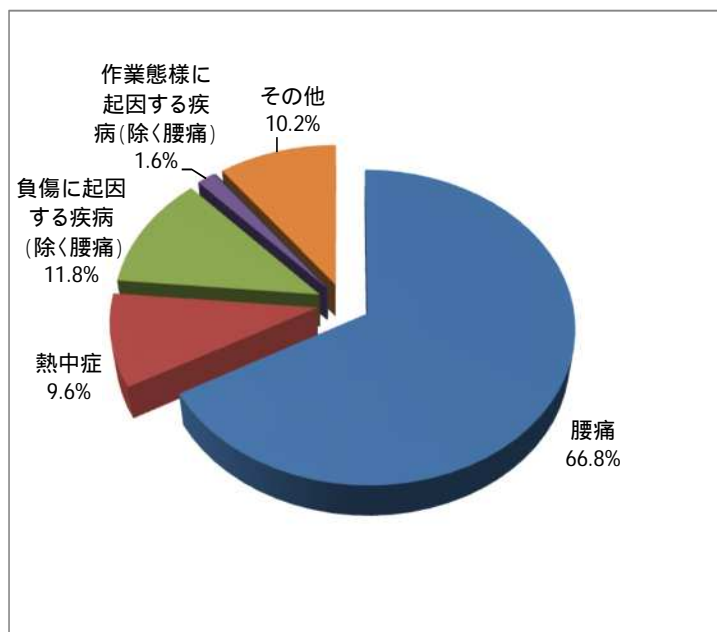
【労働衛生関係】

1. 業務上疾病年別推移



	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年		
腰痛	128	130	100	96	88	116	121	96	122	141	117	68	67	94	125		
負傷に起因する疾病 (腰痛を除く)	30	31	18	9	8	19	14	13	8	7	7	8	5	8	22		
作業態様に起因する疾病 (腰痛を除く)	7	8	7	10	9	4	11	1	3	5	4	4	4	4	3		
物理的因子に起因する 疾病(熱中症を含む)	7	15	5	14	14	16	8	10	14	5	14	38	11	21	21		
じん肺及びじん肺合併症	12	19	18	26	14	15	4	9	11	7	5	1	0	0	0		
その他	10	10	10	8	40	18	30	13	9	10	8	4	6	9	16		
疾病総数	194	213	158	163	173	188	188	142	167	175	155	123	93	136	187		
														*新型コロナウイルス感染症分:		37	347

令和3年 疾病種別比率

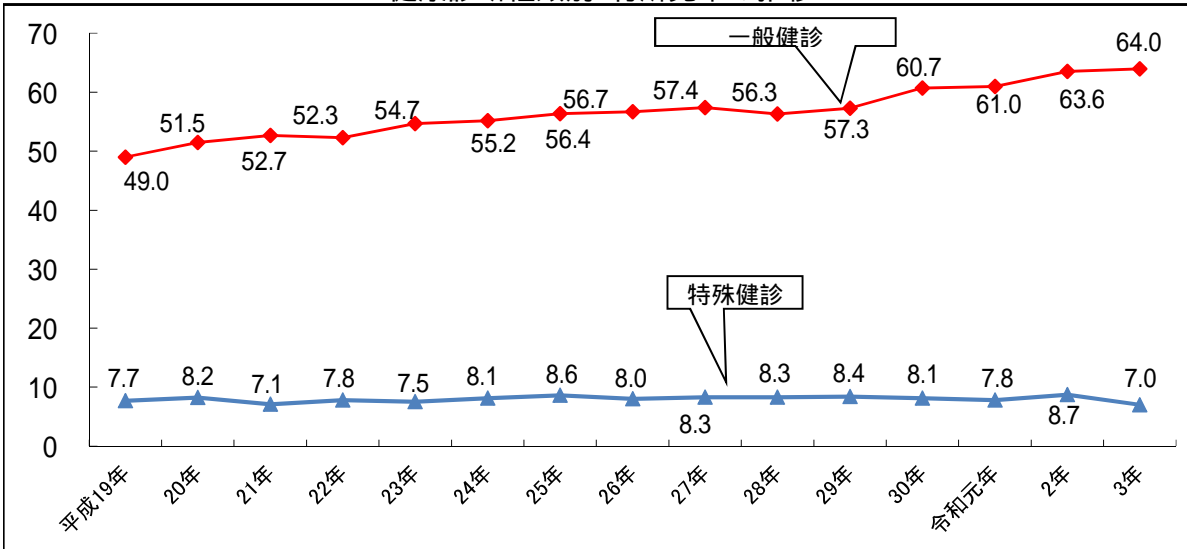


	疾病者数	構成比・%
腰痛	125	66.8%
熱中症	18	9.6%
じん肺及び じん肺合併症	0	0.0%
負傷に起因する疾病 (除く腰痛)	22	11.8%
作業態様に起因する 疾病(除く腰痛)	3	1.6%
その他	19	10.2%
合計	187	100%

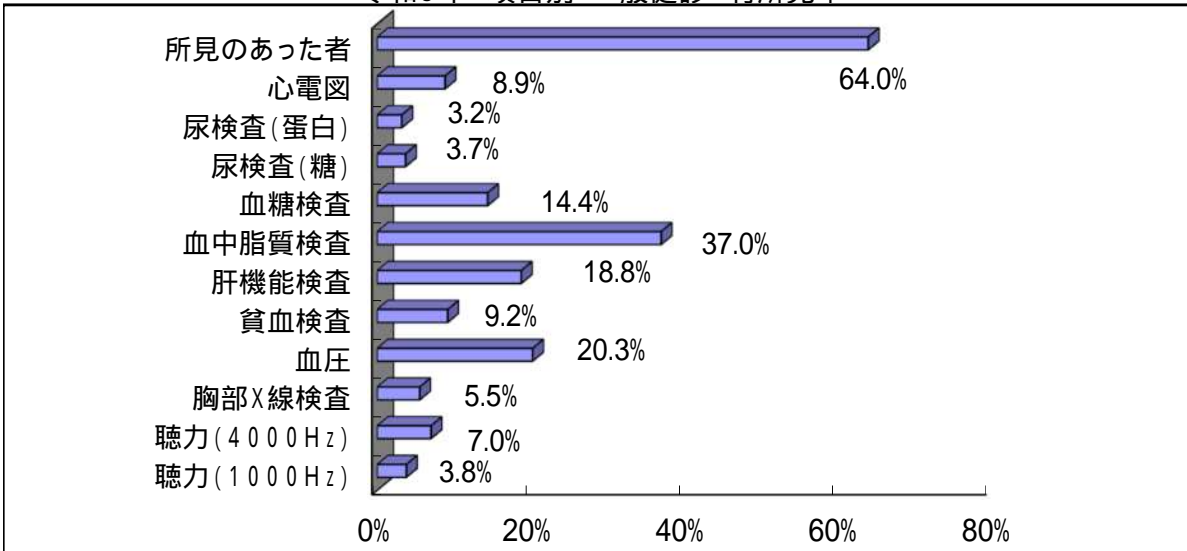
その他には熱中症以外の物理的因子に起因する疾病を含む

2. 健康診断有所見者の推移

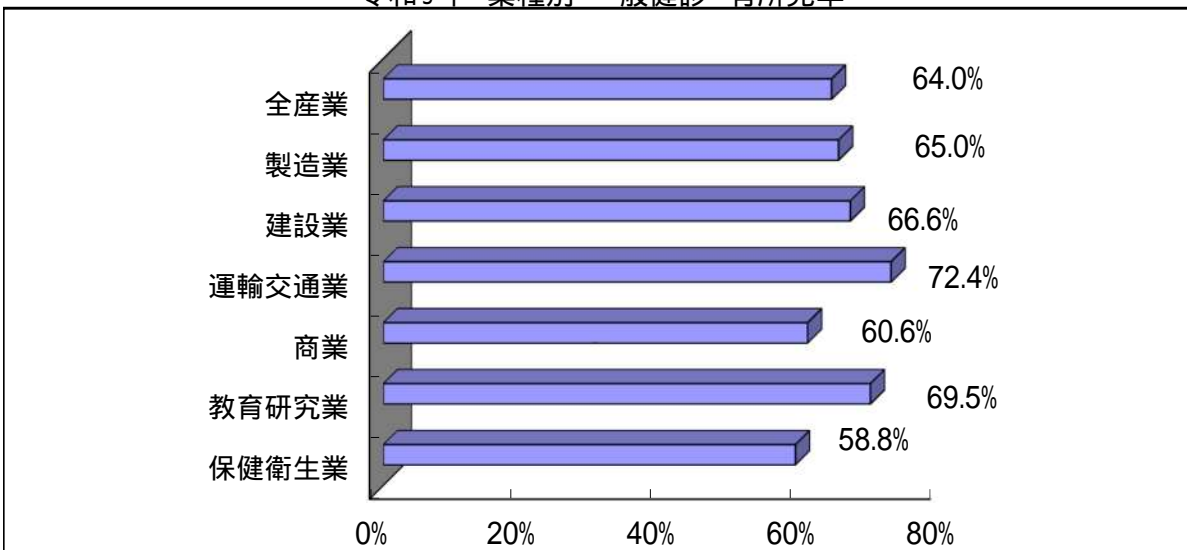
健康診断種類別・有所見率の推移



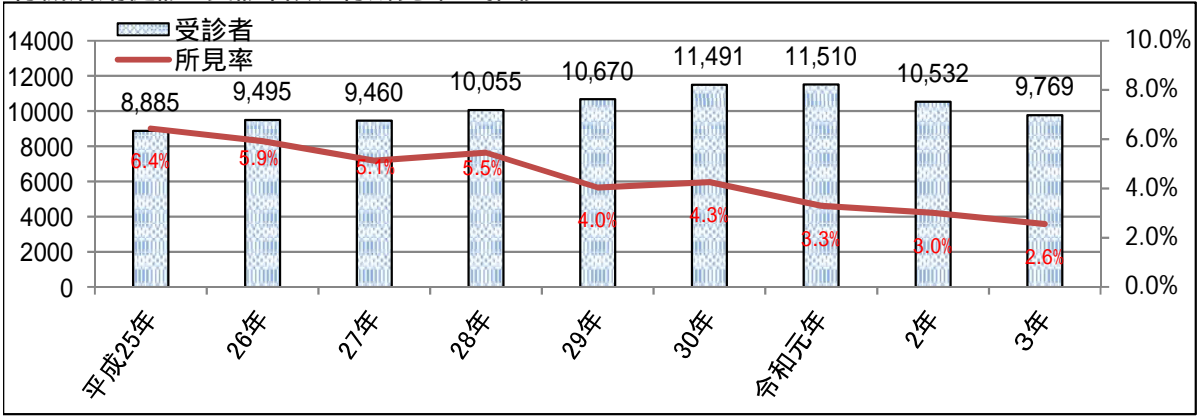
令和3年 項目別・一般健診 有所見率



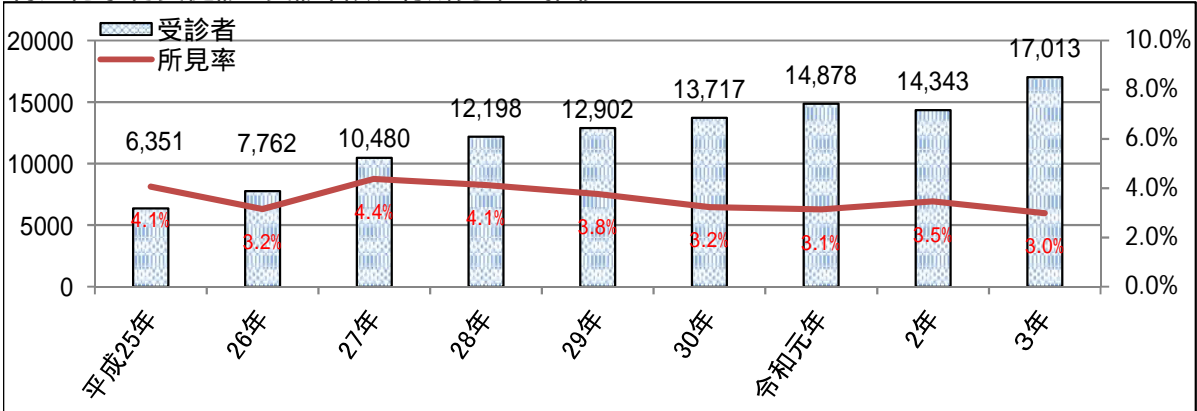
令和3年 業種別・一般健診 有所見率



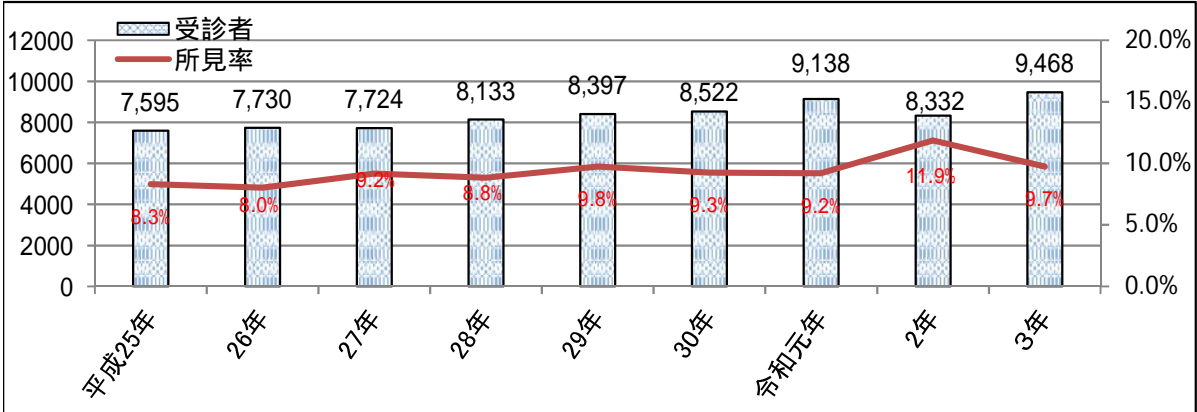
有機溶剤健診 受診者数・有所見率の推移



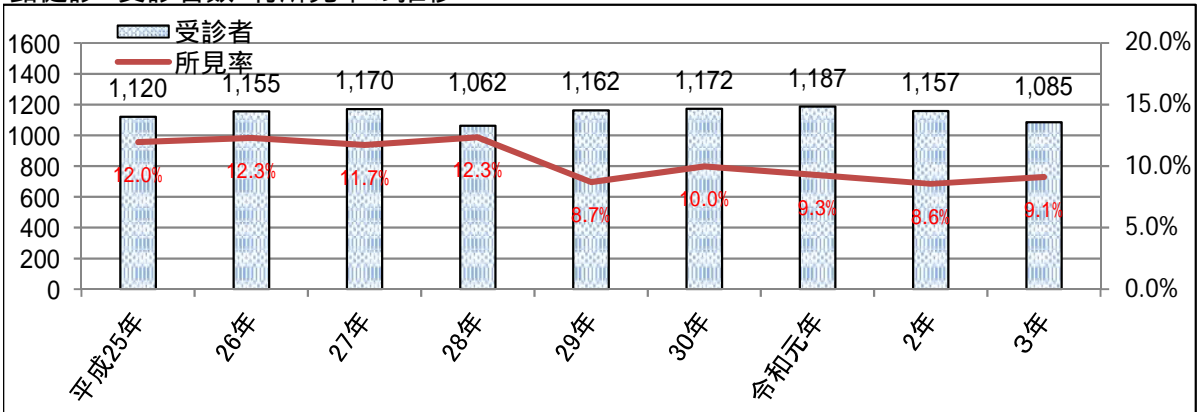
特定化学物質健診 受診者数・有所見率の推移



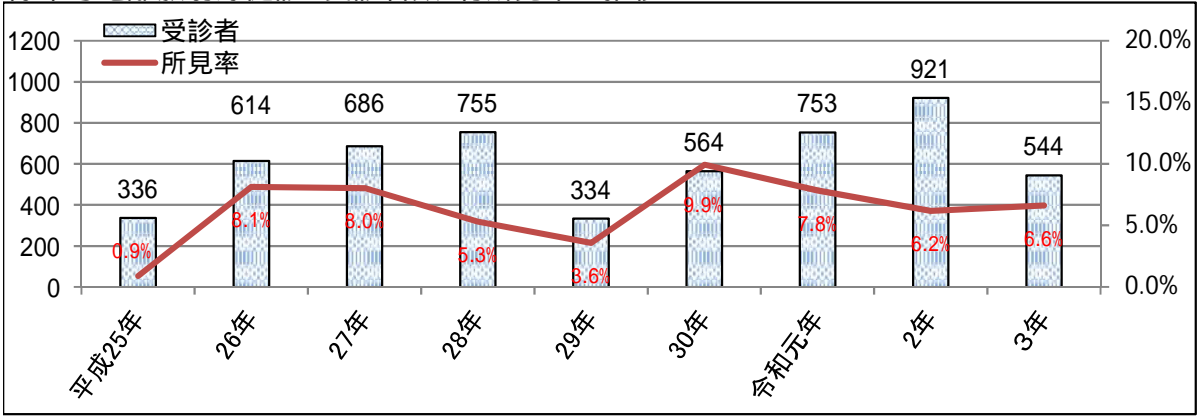
電離放射線健診 受診者数・有所見率の推移



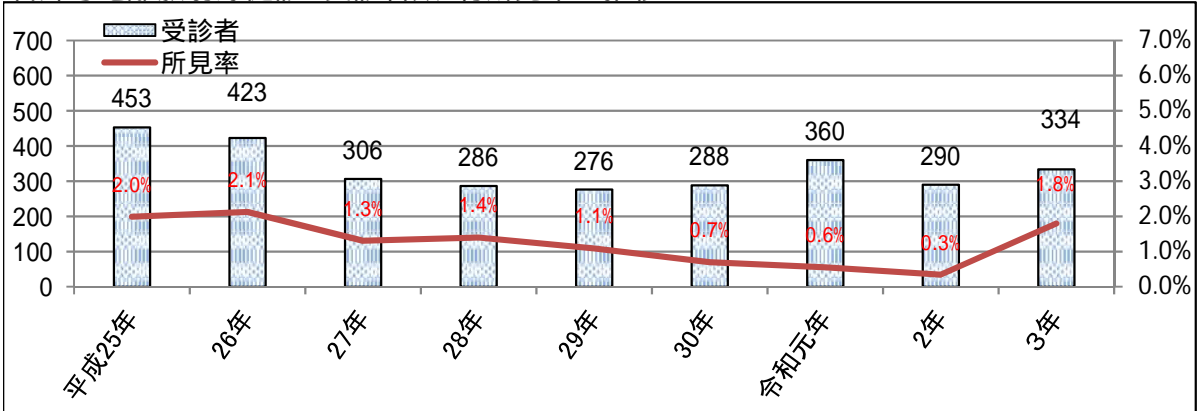
鉛健診 受診者数・有所見率の推移



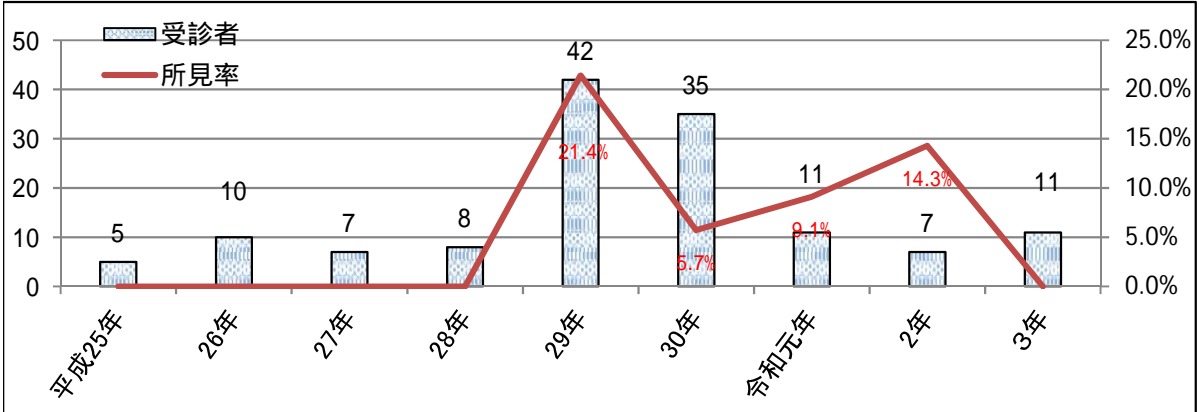
除染等電離放射線健診 受診者数・有所見率の推移



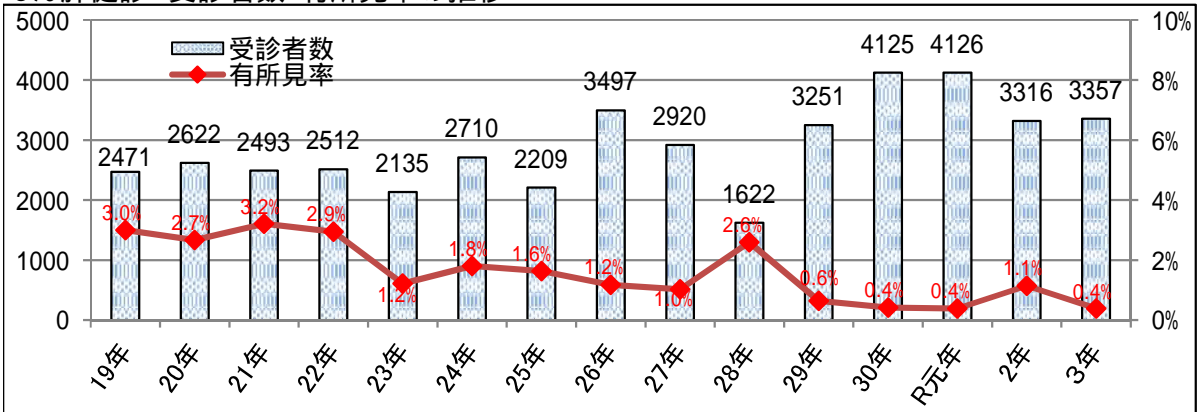
石綿等電離放射線健診 受診者数・有所見率の推移



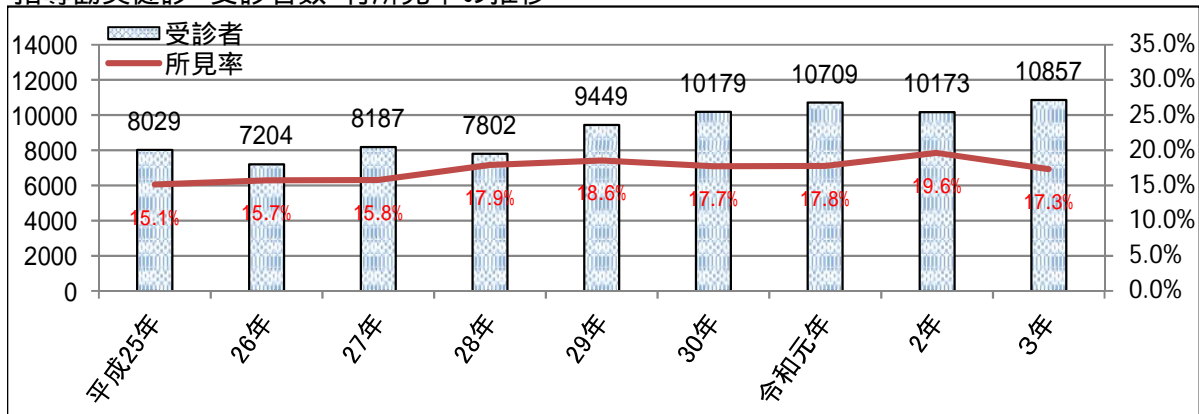
高気圧健診 受診者数・有所見率の推移



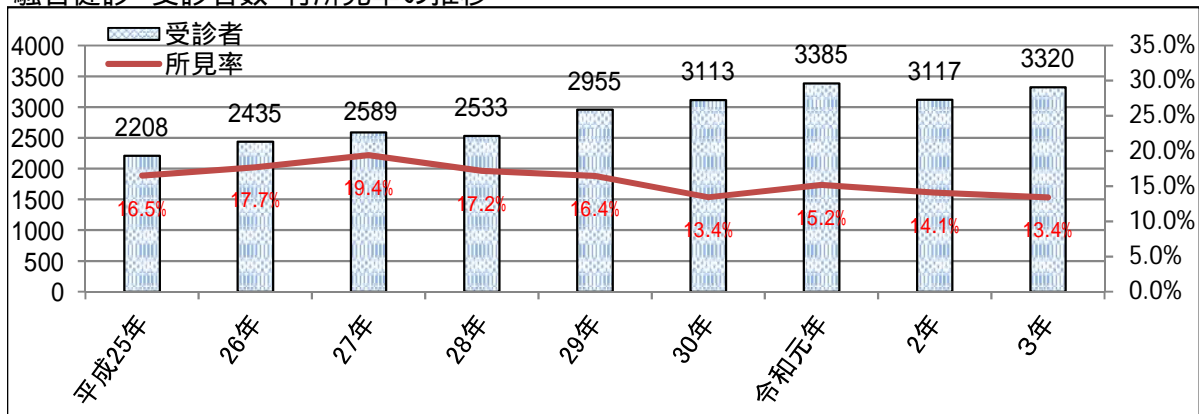
じん肺健診 受診者数・有所見率の推移



指導勸奨健診 受診者数・有所見率の推移



騒音健診 受診者数・有所見率の推移



騒音健診 受診者数・有所見率の推移

